



『モノグラフ・高校生』vol.59

高校生の描く21世紀像

要約

第1章 近未来の高校生

① 4～5年先の生活は、「パソコンを使って連絡を取ったり、情報を得たりする」が「きつと」と「たぶん」できているを合わせ73.1%とトップで、続いて「パソコンを使って仕事をする」68.9%、「世界の未知の相手とインターネットで通信する」58.1%といずれも半数を超える。(p.14 図1-1)

② 国際化の視点からは、「外国に行ったとき、1人で買い物をする」ことが「きつと」と「たぶん」できているを合わせて65.9%と高い。しかし、「外国の会社に就職する」(13.7%)、「外国の大学院に留学する」(11.3%)ことには躊躇している様子が鮮明である。(p.14 図1-1)

③ 将来やってみたい仕事は、「芸術やスポーツに関する仕事」61.3%がトップである。次いで「海外での仕事」が59.7%。半数を超えるのは「最先端技術に関する仕事」57.3%、「医療・福祉に関する仕事」53.1%、「動物や植物に関する仕事」50.2%、「宇宙に関する仕事」50.0%である。(p.17 表1-9)

④ 4～5年先の将来の社会情勢の予測では、「国際化が進んで外国の企業に就職する人が多くなる」がトップで71.0%、続いて「企業規模よりも仕事内容が重視されている」70.8%である。「就職は学歴やコネではなく、本人の実力で決まる」66.7%と、現実社会の流れを厳しくみつめている。(p.20 表1-12)

第2章 将来の生活・結婚・家庭像

① 10年後の生活は、「きつとできている」数値に着目してみると、「親から自立して暮らしている」が最も高く60.0%、次いで「気の合った多くの友人を持っている」41.2%、「幸せな家庭生活を送っている」36.9%、「好きな相手と結婚している」36.4%、「趣味の面で満ち足りた生活を送っている」32.4%と、確実に実現可能な数値は3割を超える程度である。「親からの自立」「趣味の充実」「友だち関係」は学年が上がるにつれ達成できると考える割合も高くなる。(p.24 表2-1、p.25 表2-2)

② 結婚後の夫と妻の関係は、「お互いに頼り合っている夫婦」60.0%、「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」20.2%、「どちらかというと夫がしっかりリードする夫婦」15.3%、「どちらかというと妻がしっかりリードする夫婦」4.5%となる。男子は「お互いに頼り合っている夫婦」、女子は「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」の割合が高い。(p.26 表2 - 3)

③ 結婚後の女性(男子は妻)のライフスタイルは、「子育てにめどがついたらまた働く」が45.0%と最も高く、次いで「ずっと仕事を続ける」24.6%、「子どもが生まれるまで働く」16.3%であり、「結婚したら家庭に入る」は14.1%にすぎない。(p.27 表2 - 5)

④ 結婚後「男性の姓を名のる」47.5%、「別にどちらの姓を名のってもかまわない」49.9%とほぼ半数を占める。「男性の姓を名のる」ことを希望する女子の割合が高い。逆に「別にどちらの姓を名のってもかまわない」は男子に多い。(p.29 表2 - 8)

⑤ 夫と妻の家事や育児分担は、「夫と妻が半々」の数値に注目すると、「子どものしつけ」が87.8%と最も高く、次いで「子どもを寝かしつける」「オムツのとりかえ」「夕食後の片づけ」「子どもをお風呂に入れる」「部屋の掃除」が6割前後。「妻が半分以上・ほとんどする」のは「朝食作り」70.0%、「夫がほとんど・半分以上する」のは「ゴミ出し」42.5%、「子どもをお風呂に入れる」37.4%。(p.31 表2 - 11)

第3章 高校生の未来の生活ぶり と 情報化社会の生き方

① 今から30年後の生活は、「幸せな家庭生活を送っている」88.6%と「気の合った多くの友人を持っている」88.5%が上位を占める。いずれも女子の割合が9割以上である。「親の面倒をみている」割合は68.7%となる。(p.34 表3 - 1)

② 成績別にみると、上位層の90%近くは「幸せな家庭生活を送っている」と答えている。「気の合った多くの友人を持つ」ことができる」と答えている割合が80%以上で成績に関係なく高い。ただ成績上位層も自分の成績が「下」と答えている層も「親の面倒をみている」と答えている割合が低い。(p.35 表3 - 2)

③ 50年後の生活は、「自分に合った仕事を続けている」「子どもに面倒をみてもらっている」と答えたのが5割前後である。仕事を続けている割合が低いのは女子に顕著である。(p.36 表3 - 3)

④ 高齢期の生活は、定年制はなくなり、働く意志があればいつまでも働ける社会になっていると思う高校生が42.6%。定年後に働き続けるかどうか自由に選択できる社会になっていると思う高校生は過半数を超えているもの(α 60.9%)、必ずしも定年後の就労希望がかなえられると思っていない。医療が発達し平均寿命が100歳を超える社会をイメージしている高校生は少ない。(p.37 表3 - 4)

⑤ 親の介護では、「自分が一緒に住んで面倒をみる」が21.2%、「自分たちの近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる」と答えた高校生は50.7%で半数を超える。女子の方が近くに親を呼んで面倒をみる割合は高い。男子は「外部サービス利用」が多く、女性が担っているという今日の実態からみて「介護疲れ」の問題は見逃せないし、「介護責任は社会にある」といった意識はこれから増えると予測される。(p.38 表3 - 5)

⑥ 自分自身の希望する介護は、「できる限り家族の手で面倒をみてもらいたい」と答えた高校生は36.9%と低い。男子の方が面倒をみてもらいたいと思う割合が高く、女子は子どもに面倒をかけたくないといった意識がみられる。(p.40 表3 - 7)

第4章 将来の高校・学歴・人間関係

①30年後の高校生活について、「そう思う」が最も多いのは「自宅でインターネットを使って勉強する」である。次いで「高校の授業科目は自由に選択できる」「教室から黒板がなくなっている」「教材や連絡のためのプリントは使わなくなっている」が肯定率5割を超える。「週休3日制になっている」は半数をわずかに割る。そして、「ゆったりとした高校生活が送れる」となると、「そう思う」の数値が大幅に落ちる。「いじめは少なくなっている」と「かなりそう思う」は、わずか3.4%にすぎない。「まあそう思う」を合わせても、13.3%にしかならない。(p.43 表4 - 1)

②30年後の一流大学卒業の価値は、14.9%の生徒が「今よりぐんと値打ちが下がる」と考えている。「やや下がる」32.2%を加える

と、「下がる」は全体の47.1%を占める。(p.46 表4 - 2)

③30年後の人間関係の変化では、「とても・ややそう思う」数値が、「あまり・ぜんぜんそう思わない」数値を上回るのは、「住んでいる地域よりインターネットなどによる人間関係が進む」「高校生は親からの自立意識が強くなる」「会社などの人間関係より趣味などを通じた人間関係が重視される」「地域の自治会や町内会の活動がなくなっている」の4項目である。一方、「そう思わない」が「そう思う」を上回るのは、「親子関係は親密になる」「兄弟・姉妹の結束が強まる」「親戚関係は密接になる」などである。「結婚して子どもを持つ人が増える」の肯定者はわずか12.5%で、非婚化、晩婚化、少子化の傾向をそのまま反映している。(p.47 表4 - 3)

④30年後の男女関係は「結婚しない人が増えている」は「そう思う」が7割。「女性の能力や才能は正しく評価されている」「女性の社会的地位は高くなっている」「就職する際に男女差別がなくなっている」を肯定する者が6～7割。生徒たちは、女性の地位向上、職業上の男女平等はさらに進むと見通す。(p.49 表4 - 4)

⑤性差では、「就職する際に男性が差別されるようになっている」でごく低い数値同士ながら、差が認められる。女子はわずか2.4%だが、男子は10.0%が「そう思う」と考えている。30年後の日本は、自信満々で生き生きと働く女性と、自信を喪失してしょんぼりしている男性の時代になるのかもしれない。(p.49 図4 - 2)

第5章 これからの社会への展望

① 30年後の社会では、自然環境が悪化すると思う者が81.9%に達する。それと同時に、人間関係の連帯感も薄れるだろう（45.5%）と感じている者が多い。（p.51 表5 - 1）

② 30年後の社会では、宅地化が進み（79.3%）、トンボやカエルが身近から姿を消す（70.7%）など、環境の悪化が進むだろう。（p.53 表5 - 3）

〔全体として〕豊かな情報化社会が到来するだろう。しかし、自然環境が悪化し、人間関係が希薄になる。それだけに自分の家庭を大事にしたいという。

|||||

〔調査概要〕

対象 北海道・群馬・茨城・大阪・兵庫の
公立高校6校の1～3年生

時期 1999年10～11月

方法 学校通しの質問紙調査

サンプル数

(人)

	1年	2年	3年	合計
男子	281	318	179	778
女子	297	259	184	740
合計	578	577	363	1,518

〔執筆分担〕

はじめに・第5章・まとめに代えて
深谷昌志（東京成徳短期大学教授）

第1章

尾澤弘恒（桜美林高等学校教諭）

第2章

三枝恵子（埼玉県立松山高等学校教諭）

第3章

望月重信（明治学院大学教授）

第4章

畠山 滋（千葉県立佐倉高等学校教諭）

はじめに

未来に明るい夢を 託しにくい

予測が5年持たない

本モノグラフは高校生たちに21世紀の社会を予測させた報告書である。「予測」というと苦い思い出がある。大学院に入って間もない昭和33年、恩師が電機メーカーから家庭電化製品の需要予測調査を引き受けてきた。西武線の沿線・保谷市に、当時としては最新で大規模なひばりが丘団地がつくられた。そこで、「団地族」の電化意識を調べると同時に、教育期待を尋ねようとしたのである。

テレビと電気洗濯機、電気冷蔵庫の購買予定などの聞き取りを行い、需要予測を試みた。とりあえず、全世帯の3割に普及するのが何年後か、普及率が半数に達するのはいつかを予測しようとしたのである。

電気洗濯機を求めなくても、洗濯はできるし、電気冷蔵庫などという贅沢なものもなくとも暮らせる。それだけに、半数の世帯に普及するとは思えない。それと比べると、家庭

でテレビを見たいという気持ちは強いので、テレビの需要はあると思う。しかし、10万円前後の高額では給料の半年分を超えるから、とても買えそうもない。だから、経済的に豊かな1割くらいの家庭にテレビが広まるにしても、テレビの普及率が3割に達するのは15年後、半数の家庭にテレビが普及するのは30年くらい先なのではないか。

こうした報告書を提出して4年後の昭和37年、テレビの受信契約台数が1千万台を超え、2軒に1軒の割合でテレビが普及する状況を迎えた。30年どころか、4年で電気冷蔵庫や電気洗濯機についても、あっという間に家庭に広まっていった。

いずれにせよ、われわれの予測は5年も持たなかったわけになる。大量生産をされると信じられないくらい単価が下がる。あるいは、企業間の競争で技術革新が進み、それが単価の下げをもたらす。そうした動向の踏まえ方が弱かったことが誤差を生んだ要因であろう。

変動の激しさにもまれて

そうした経験を持っているので、「予測」に関心を寄せてきた。そして、経済の予測を含めて、予測がほとんど外れているのを感じる。現在の状況でいえば、不況がいつ終わるのかを誰かに教えてほしいが、少なくとも専門家といわれる人の予測は外れ続けている。

考えてみると、「一寸先はわからない」ところが、未来の性質なのかもしれない。あるいは、先の不透明さに未来の値打ちがあるともいえよう。

17年ほど前、大学にファックスなるものが試験的に入ってきた。メーカーの説明を聞くと、電話と同じような操作で用紙を送ると、そのまま先方にメールが届くという。話をいくら聞いても、どうして1枚の紙が先方に届くのかわからなかった。

そして、12年ほど前、大学の紀要編集にあたって、若手の先生からフロッピーによる原稿提出が提案された。制作コストを3割程度に削減できるだけでなく、制作日数を1か月以上短縮できる。それなりに納得できる提案だった。ただ、筆者を含めて、教授たちは自分でもパソコンで文章を打てるようになるのかに不安を感じた。若手は「ベテランの先生の原稿は私たちが打たせていただきます」と言ってくれたが、何となく若手が指導者で、ベテランが助けてもらう、大学内の下克上が生まれた感じだった。これでは大変と、筆者がパソコンを始めたのはその直後である。

6年ほど前からだろうか、雑誌の編集者や新聞記者から携帯電話の番号を聞かれるようになった。自分には関係ないと思っていたのに、携帯があると至急の連絡ができるという。そこで、携帯なるものを持つことにした。

ファックス、パソコン、そして、携帯と、ほんの少し前まで、考えられなかったモノが日常生活に入りこんでくる。そして、生活が変わる。現在では、携帯で原稿の注文を受け、パソコンで打った原稿をファックスで送るのが当たり前になった。

いずれにせよ、こうした変化によって、原稿が遅れたとき、「今、速達でポストに入れました」や「明日、一番で社にお持ちします」などの言い訳が通じなくなった。原稿ができたのなら、ファックスを送れば、その瞬間に相手方に届く。半日単位の生活リズムの中で、編集者に会ったり、電話したりすることがなくなり、分単位の生活になった。生活がせわしくなり、人間関係が疎遠になった。

現在ではファックスがメールに変わり始めているが、これから5年後、研究者としての生活がどう変わるのか。考えてみるのが怖い気がする。たかがファックスでも慣れるのにこずったし、パソコンはもっと大変だった。なんとか世の中の流れについていくのがやっとで、これから先、もっと大きな変化がきたら、流れから取り残されるような気がする。

そうした状況が進むことを考えると、21世紀の到来を喜べない気がする。それでは、高校生は未来に明るい展望を抱いているのか。それを確かめようとしたのが本報告書である。

第1章

近未来の高校生

さまざまな話題を生んだ2000年、20世紀の最終年がとうとうやってきた。現在の高校生はその人生のほとんどを21世紀に過ごすこ

とになるが、彼らが新しい世紀にあたり、社会に対してどのような希望や期待を抱いているか、予測してもらった。

1 回答者のプロフィール

この調査には、表1-1に示した1,518名（男子778名、女子740名）の公立高校生からアンケートの協力が得られた。調査時期は、1999年10～11月、2000年問題が心配された時期である。調査地域は、北海道・群馬・茨城・大阪・兵庫で、公立高校6校の生徒たちが対象である。

表1-2は部活動の実態である。全体の64.5%が現在部活動に所属している。「運動部で熱心に活動している」38.0%、「文化部で熱心に活動している」9.8%を合わせ、ほぼ5割の者が熱心に活動している。なお「現在はやめてしまった」と答えた者が19.9%となっているのは、調査時期が10～11月で、3年生が部活動を引退したと考えられる。

表1-3は成績の自己評価である。自分の

成績を「下」と評価している者が24.5%、「中の下」20.4%を合わせると、自分の成績が平均以下と考えている者は4割を超える。今回の調査対象校は全国的にみて「中の上」レベルであるため、生徒たちの自己評価は低いが、一般的にはそれほど成績が悪いというわけではないだろう。

表1-4は自分のタイプを理系か文系かと尋ねた結果である。理系・文系ともほぼ4割、「どちらともいえない」が16.6%となっている。性別にみると、男子は「絶対理系」23.9%、「まあ理系」26.6%を合わせると5割となる。一方女子は、「絶対文系」25.7%、「まあ文系」27.1%を合わせると5割を超え、理系・文系のタイプで性差が顕著にみられる。

表1 - 1 サンプル数

(人)

	1 年	2 年	3 年	合 計
男 子	281	318	179	778
女 子	297	259	184	740
合 計	578	577	363	1,518

表1 - 2 部活動の参加

(%)

運動部で熱心に活動している	運動部だが熱心に活動していない	文化部で熱心に活動している	文化部だが熱心に活動していない	現在はやめてしまった	入ったことがない
38.0	10.8	9.8	5.9	19.9	15.6

表1 - 3 成績

(%)

	上	中の上	中	中の下	下
全 体	7.0	18.6	29.5	20.4	24.5
男 子	8.6	17.9	28.0	19.5	26.0
女 子	5.2	19.3	31.2	21.3	23.0

表1 - 4 理系・文系のタイプ

(%)

	絶対理系	まあ理系	どちらともいえない	まあ文系	絶対文系	その他
全 体	15.6	23.2	16.6	22.2	20.3	2.1
男 子	23.9	26.6	14.2	17.5	15.3	2.5
女 子	6.8	19.4	19.2	27.1	25.7	1.8

表1-5は高校卒業後の進路希望である。「難しい大学への進学」20.4%、「まあまあの大学への進学」は57.0%である。「短大への進学」も合わせると大学進学志望者が8割である。このことから今回の調査校のランクが高いことが推測できる。大学進学志望でも性差が顕著で、男子はほとんど大学で、専修・専門学校・短大も視野に入れた幅広い進路を考えているのは女子に多くみられる。

次に、自分がどんなタイプであるか尋ねたのが表1-6、表1-7、表1-8である。表1-6は自分の中にある心情や資質、能力、自分の特徴、生活などを聞いてみた全体に占める割合である。「がんばれば、大抵のことはできる」が、「まあそう」とちょっと遠慮がちに答えてはいるが51.4%、「とてもそう」を加えると実に72.3%が自信を持って生活していることがわかる。「友だちから信頼されている」は、「とてもそう」が7.1%に対して「まあそう」が51.0%と、これもあまり強く自分を出していない。「とてもそう」と一番多く答えているのは、「先のことを心配するよりは今を楽しみたい」の27.3%で、「まあそう」の31.6%を合わせると58.9%になり、

今の生徒たちが生活エンジョイ第一であることがわかる。「おしゃれな方だ」(40.1%)と自分では認識していても、「異性から人気がある」と思っているのはわずか15.0%にすぎない。

表1-7が示しているように、女子の方が概してよい方に出ている。男子の方が高いのは「心がやさしい」男子66.8%>女子59.5%、「スポーツが得意だ」男子56.3%>女子42.0%、「異性から人気がある」男子18.7%>女子11.1%で、12項目中わずかに3項目である。

女子の方が優勢なのは、「がんばれば、大抵のことはできる」女子73.3%>男子71.3%、「友だちが多い」女子65.1%>男子60.2%、「友だちから信頼されている」女子64.4%>男子52.1%、「行動力がある」女子56.6%>男子50.8%、「努力型だ」女子48.9%>男子45.7%、「おしゃれな方だ」女子44.8%>男子35.7%、「先生から信頼されている」女子38.3%>男子33.8%、「友だちを引っ張る力がある」女子37.3%>男子34.2%で、「先のことを心配するよりは今を楽しみたい」女子59.0%>男子58.9%は接近している。

表1-5 高校卒業後の進路

	(%)		
	全 体	男 子	女 子
難しい大学への進学	20.4	24.4	16.2
まあまあの大学への進学	57.0	60.7	52.6
短大への進学	3.2	0.8	5.8
専修・専門学校への進学	7.7	3.3	12.5
進学せずに就職	1.1	1.2	1.1
まだ決めていない	8.4	7.5	9.4
その他	2.2	2.1	2.4

表1 - 8より学年別に数値の高い方から並べ、比べてみる。

- ・がんばれば、大抵のことはできる
2年74.3% > 1年71.7% > 3年70.3%
- ・心がやさしい
2年64.3% > 1年62.7% > 3年62.5%
- ・友だちが多い
1年66.1% > 2年61.3% > 3年58.8%
- ・先のことを心配するよりは今を楽しみたい
1年62.2% > 2年59.4% > 3年52.8%
- ・友だちから信頼されている
1年59.0% > 2年58.7% > 3年55.3%
- ・行動力がある
2年54.8% > 1年53.0% > 3年52.7%
- ・スポーツが得意だ
3年51.7% > 1年50.2% > 2年47.1%

- ・努力型だ
1年47.7% > 3年47.3% > 2年46.8%
- ・おしゃれな方だ
3年41.5% > 1年39.9% > 2年39.4%
- ・先生から信頼されている
3年41.2% > 1年35.0% > 2年33.9%
- ・友だちを引っ張る力がある
2年37.3% > 3年35.1% > 1年34.5%
- ・異性から人気がある
3年18.1% > 2年15.1% > 1年12.8%

こうみえてくと、学年による特性には興味がある。

1年は「先のことを心配するよりは今を楽しみたい」と高校生活に希望を持っている。2年は一般に中だるみの時期であるが、「が

表1 - 6 自分のタイプ

	(%)			
	とてもそう	まあそう	やや違う	まったく違う
1. がんばれば、大抵のことはできる	20.9	51.4	22.6	5.1
2. 心がやさしい	15.0	48.3	30.7	6.0
3. 友だちが多い	13.9	48.7	30.4	7.0
4. 先のことを心配するよりは今を楽しみたい	27.3	31.6	31.1	10.0
5. 友だちから信頼されている	7.1	51.0	34.4	7.5
6. 行動力がある	12.1	41.5	36.1	10.3
7. スポーツが得意だ	17.3	32.1	29.5	21.1
8. 努力型だ	13.2	34.0	34.0	18.8
9. おしゃれな方だ	6.2	33.9	44.6	15.3
10. 先生から信頼されている	4.8	31.2	45.7	18.3
11. 友だちを引っ張る力がある	7.6	28.1	50.3	14.0
12. 異性から人気がある	3.5	11.5	49.7	35.3

んばれば、大抵のことはできる」と自信を持ち、「友だちを引っ張る力」や、「行動力」にまかせて突き進もうとする力がわいてくるようだ。3年は洒落っ気が出てきて、異性の人気に一喜一憂する年頃となるが、がっちり

先生の信頼を獲得することも忘れない要領のよさがみられる。もちろん学年の枠に入らない生徒もいるが、大勢の生徒をみると、何らかの共通点を持ち合わせている。

表1 - 7 自分のタイプ × 性

(%)

		とてもそう	まあそう	やや違う	まったく違う
1. がんばれば、大抵のことはできる	男子	24.3	47.0	22.1	6.6
	女子	17.3	56.0	23.2	3.5
2. 心がやさしい	男子	22.1	44.7	26.5	6.7
	女子	7.5	52.0	35.2	5.3
3. 友だちが多い	男子	14.4	45.8	30.5	9.3
	女子	13.3	51.8	30.3	4.6
4. 先のことを心配するよりは今を楽しみたい	男子	29.4	29.5	29.8	11.3
	女子	25.2	33.8	32.4	8.6
5. 友だちから信頼されている	男子	8.6	43.5	37.8	10.1
	女子	5.6	58.8	30.9	4.7
6. 行動力がある	男子	14.4	36.4	37.4	11.8
	女子	9.7	46.9	34.6	8.8
7. スポーツが得意だ	男子	22.3	34.0	26.8	16.9
	女子	12.0	30.0	32.4	25.6
8. 努力型だ	男子	14.2	31.5	32.5	21.8
	女子	12.2	36.7	35.5	15.6
9. おしゃれな方だ	男子	7.9	27.8	43.7	20.6
	女子	4.3	40.5	45.6	9.6
10. 先生から信頼されている	男子	5.9	27.9	45.5	20.7
	女子	3.6	34.7	45.9	15.8
11. 友だちを引っ張る力がある	男子	9.2	25.0	49.0	16.8
	女子	5.8	31.5	51.7	11.0
12. 異性から人気がある	男子	5.8	12.9	52.2	29.1
	女子	1.0	10.1	47.0	41.9

表1 - 8 自分のタイプ × 学年

(%)

		とてもそう	まあそう	やや違う	まったく違う
1. がんばれば、大抵のことはできる	1 年	18.3	53.4	24.8	3.5
	2 年	22.2	52.1	21.3	4.4
	3 年	22.9	47.4	21.2	8.5
2. 心がやさしい	1 年	12.7	50.0	31.6	5.7
	2 年	16.7	47.6	31.4	4.3
	3 年	16.2	46.3	28.1	9.4
3. 友だちが多い	1 年	15.5	50.6	29.8	4.1
	2 年	12.8	48.5	30.7	8.0
	3 年	13.1	45.7	31.0	10.2
4. 先のことを心配するよりは 今を楽しみたい	1 年	31.3	30.9	30.9	6.9
	2 年	27.5	31.9	31.4	9.2
	3 年	20.7	32.1	31.0	16.2
5. 友だちから信頼されている	1 年	6.0	53.0	35.8	5.2
	2 年	7.3	51.4	33.3	8.0
	3 年	8.6	46.7	34.1	10.6
6. 行動力がある	1 年	10.2	42.8	39.8	7.2
	2 年	13.8	41.0	34.0	11.2
	3 年	12.5	40.2	33.3	14.0
7. スポーツが得意だ	1 年	17.9	32.3	29.1	20.7
	2 年	16.1	31.0	31.7	21.2
	3 年	18.2	33.5	26.7	21.6
8. 努力型だ	1 年	11.1	36.6	34.3	18.0
	2 年	13.5	33.3	34.3	18.9
	3 年	16.1	31.2	32.9	19.8
9. おしゃれな方だ	1 年	6.2	33.7	46.7	13.4
	2 年	7.3	32.1	45.3	15.3
	3 年	4.3	37.2	40.2	18.3
10. 先生から信頼されている	1 年	2.7	32.3	48.9	16.1
	2 年	6.2	27.7	46.8	19.3
	3 年	6.0	35.2	38.5	20.3
11. 友だちを引っ張る力がある	1 年	6.5	28.0	54.6	10.9
	2 年	9.6	27.7	48.0	14.7
	3 年	6.0	29.1	47.2	17.7
12. 異性から人気がある	1 年	1.9	10.9	51.8	35.4
	2 年	4.6	10.5	51.0	33.9
	3 年	4.0	14.1	44.7	37.2

2 将来(4～5年先)の可能性

この調査の時点は1999年で、4～5年先には、ミレニアムを経て現1年生も社会人ないしは大学生となって、成人の社会人として活躍している頃である。

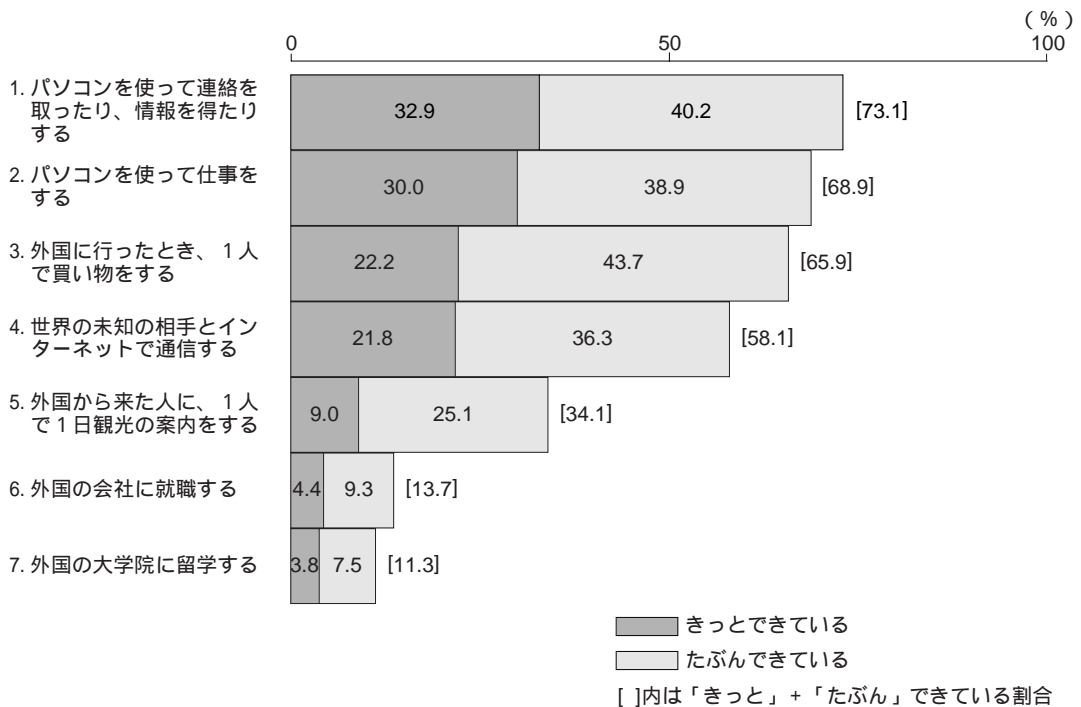
それでは、高校生の近未来の姿をみていこう。

社会変化の進度が速くなっている現在、図1-1、図1-2、図1-3は4～5年先に自分がどうなっているか、主として国際化、情報化の面から聞いてみたものである。

すでに家庭にもコンピュータがかなり入り、情報化社会の到来を予測している生徒は多く、「パソコンを使って連絡を取ったり、情報を得たりする」で「きっとできている」と「たぶんできている」の合計が73.1%、「パソコンを使って仕事をする」の合計が68.9%、

「世界の未知の相手とインターネットで通信する」の合計が58.1%といずれも半数を超え、かなり高率の予測がみられる。性別で比較してみると、「パソコンでの連絡、情報収集」については、男女のほぼ同数が肯定的であるにもかかわらず、「きっと」が男子37.5%、女子28.0%で男子の方が確信度は強く、「たぶん」では女子45.3%、男子35.5%となっており、女子の方に若干確信度の弱さがうかがえる。パソコンという機器を使うことに関して、男子は「きっと」が「たぶん」を上回り、機器使用を含めて自信を持っている者が多いことを表している。学年別でみると、「きっと」は学年が上がるにつれ増加しているが、「きっと」+「たぶん」では逆に少なくなっている。3年には自信のある者が多いが、反

図1-1 将来(4～5年先)の可能性



面に自分の先が見えている者も多いことを表しているようだ。

一方、国際化の点からみると、「外国に行ったとき、1人で買い物をする」ことができるというのは「きっと」と「たぶん」を合わせて全体で65.9%だが、男子の方が70.0%と、女子の61.5%を引き離している。男子の方が欲しいものを手に入れようという勇気があるのであろう。「外国から来た人に、1人で1日観光の案内をする」ことになると、男子はやや弱気になって30.9%、女子の方が37.5%とやや多い。

全体では「外国の大学院に留学」したり(11.3%)「外国の会社に就職する」(13.7%)ことには躊躇している様子が鮮明である。男子の方が女子よりわずかに多いが、高校生や

大学生の留学の現状では圧倒的に女子の方が多いこととはちょっと符合しない。国際化は未だ遠しの感がするが、国際化教育が叫ばれているこの時期に、生徒の感覚をどう解決するのであろうか。学年で比較してみると、「きっとできている」は、学年が進むにつれて割合が増えていながら、「たぶん」を合わせると肯定する者が逆に減っている。現実のシビアさにだんだん気づくからであろう。外国留学を希望する者が多いが、大学院までは尻込みしてしまう傾向のようである。外資系ないしは外国企業の厳しさを知っているのか、こちらの方も「できている」割合が少ない。1年生は「怖いもの知らず」、3年生は「現実直視」型の感じがする。

図1 - 2 将来(4~5年先)の可能性 × 性

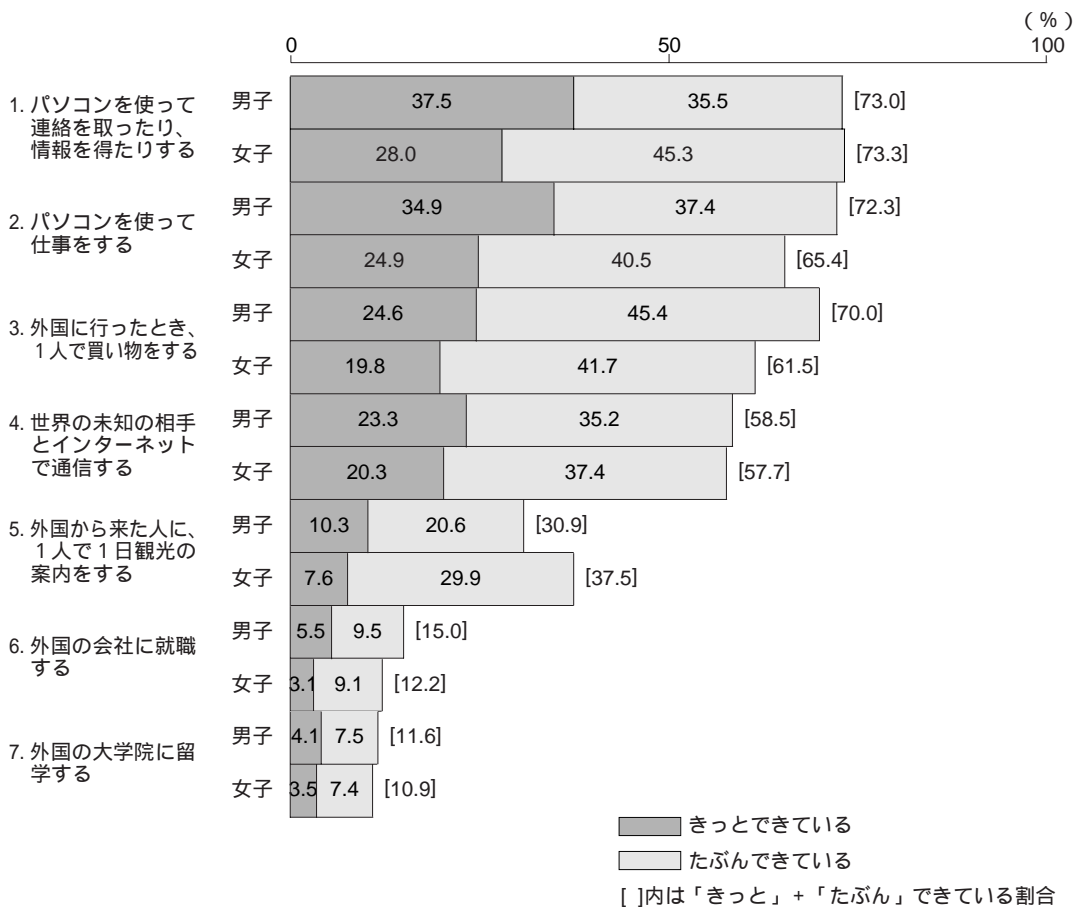
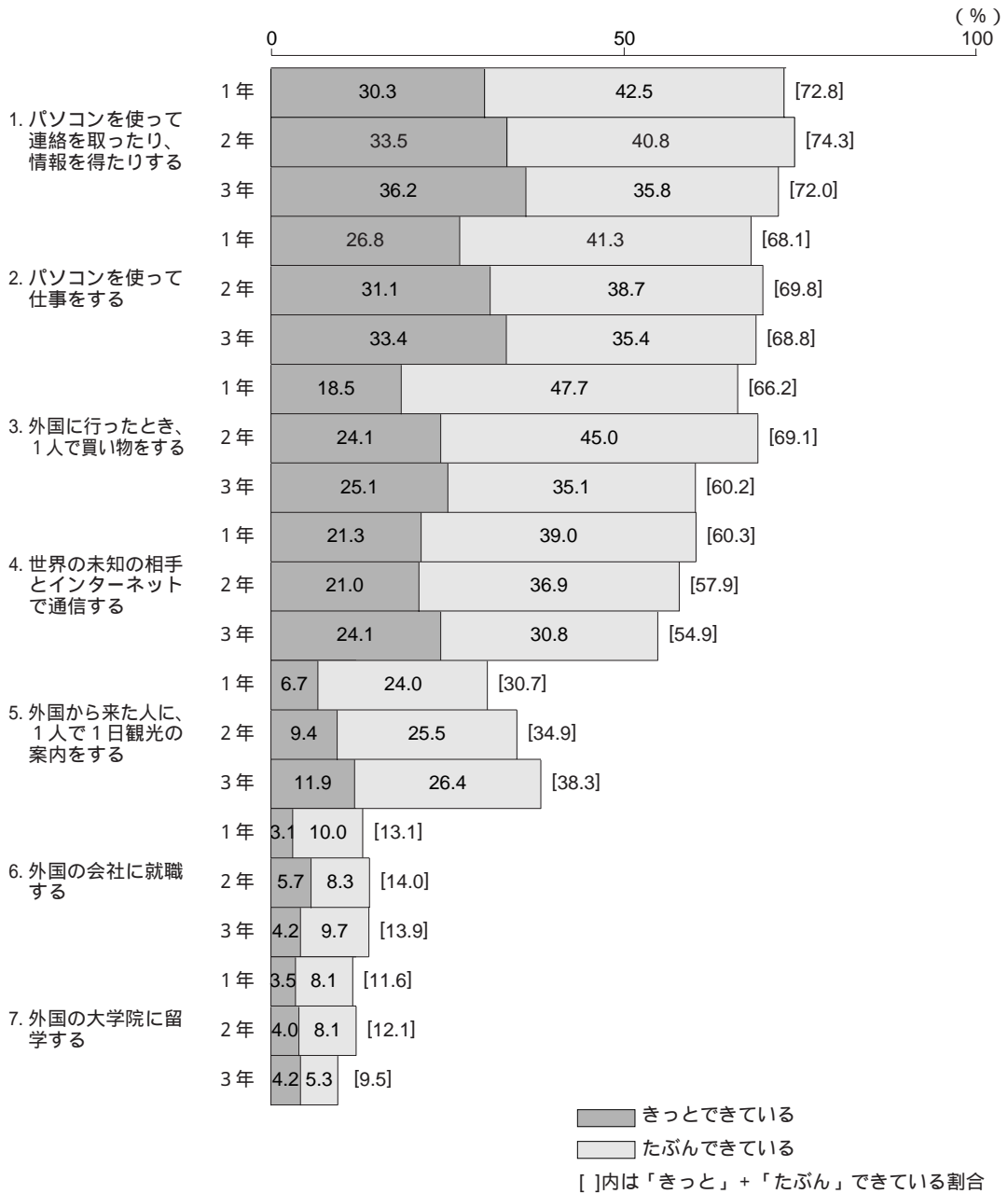


図1 - 3 将来(4~5年先)の可能性 × 学年



3 将来やってみたい仕事

表1 - 9は将来どんな仕事をやってみたいかを調べたものである。全体では、「芸術やスポーツに関する仕事」を61.3%が、「とてもやってみたい」「まあやってみたい」仕事にあげている。おそらく最近の芸能界やスポーツ界の華々しい様子にひかれているあらわれであろう。それに次いで「海外での仕事」を59.7%が希望しているが、旅行を含めたあこ

がれではなかろうか。そのほか50%を超えたものは「最先端技術に関する仕事」(57.3%)、「医療・福祉に関する仕事」(53.1%)、「動物や植物に関する仕事」(50.2%)、「宇宙に関する仕事」(50.0%)が続く。他の仕事は40%台であるが、「マスコミに関する仕事」が40.0%で最低で、意外に人気がないようである。

表1 - 9 将来やってみたい仕事

	(%)			
	とても やってみたい	まあ やってみたい	あまり やってみたくない	ぜんぜん やってみたくない
1. 芸術やスポーツに関する仕事	26.0	35.3	24.4	14.3
2. 海外での仕事	23.3	36.4	26.1	14.2
3. 最先端技術に関する仕事	24.5	32.8	27.2	15.5
4. 医療・福祉に関する仕事	24.4	28.7	28.8	18.1
5. 動物や植物に関する仕事	16.8	33.4	34.3	15.5
6. 宇宙に関する仕事	16.9	33.1	31.4	18.6
7. 教育に関する仕事	16.9	31.3	29.1	22.7
8. 環境問題に関する仕事	10.0	35.9	37.7	16.4
9. マスコミに関する仕事	13.5	26.5	32.5	27.5

表1 - 10にみられるように、男女間に顕著な差のあるものは、「最先端技術に関する仕事」男子72.1% > 女子41.7%、「宇宙に関する仕事」男子57.8% > 女子41.9%では男子の方が優勢であり、「医療・福祉に関する仕事」女子66.4% > 男子40.5%、「海外での仕事」女子67.6% > 男子52.3%では女子が10%以上の差をつけている。概して女子の方が、好奇心や関心を持っている様子がかがわれる。

「ぜんぜんやってみたくない」と20%以上に拒否されたものは、「マスコミ」が男女とも、「教育」「医療・福祉」が男子、「最先端技術」「宇宙」が女子である。

表1 - 11の学年別でみると、「とてもやってみよう」と上級生になるほど増える傾向がある。それだけ上級生の方が仕事に対する意識がはっきりしてきている証拠なのだろう。「環境問題に関する仕事」は1年生が半数以

表1 - 10 将来やってみよう仕事 × 性

		(%)			
		とても やってみよう	まあ やってみよう	あまり やってみたく ない	ぜんぜん やってみたく ない
1. 芸術やスポーツに関する仕事	男子	27.1	33.7	23.3	15.9
	女子	24.9	36.9	25.6	12.6
2. 海外での仕事	男子	20.4	31.9	29.2	18.5
	女子	26.2	41.4	22.8	9.6
3. 最先端技術に関する仕事	男子	35.5	36.6	18.5	9.4
	女子	12.9	28.8	36.3	22.0
4. 医療・福祉に関する仕事	男子	14.8	25.7	34.3	25.2
	女子	34.5	31.9	23.1	10.5
5. 動物や植物に関する仕事	男子	15.2	30.8	35.1	18.9
	女子	18.5	36.0	33.6	11.9
6. 宇宙に関する仕事	男子	21.1	36.7	26.5	15.7
	女子	12.5	29.4	36.6	21.5
7. 教育に関する仕事	男子	14.1	30.1	29.3	26.5
	女子	19.9	32.6	28.9	18.6
8. 環境問題に関する仕事	男子	13.3	31.4	35.7	19.6
	女子	6.5	40.6	39.9	13.0
9. マスコミに関する仕事	男子	12.8	23.5	32.6	31.1
	女子	14.2	29.7	32.3	23.8

上やりたくない仕事にあげているのに、3年生になると大変関心を持ち、逆に半数以上が携わりたい仕事にあげている。ただ「医療・福祉に関する仕事」は、「とてもやってみたくない」に学年変化がなく、「ぜんぜんやってみたくない」がわずかながら増えている。「教育に関する仕事」と「マスコミに関する仕事」は各学年とも20%以上が「ぜんぜんやってみたくない」にあげているが、「教育に

関する仕事」は3年生の22.6%が「とてもやってみたくない」にあげており、やや教育復権の兆しがみられる。「マスコミに関する仕事」は一見華やかそうに見えるが、高校生にとっては、何かつかみ所のない職業に見えるのではなかろうか。

表1 - 11 将来やってみたくない仕事 × 学年

		(%)			
		とても やってみたく ない	まあ やってみたく ない	あまり やってみたく ない	ぜんぜん やってみたく ない
1. 芸術やスポーツに関する仕事	1年	24.6	38.3	25.3	11.8
	2年	23.4	36.1	24.0	16.5
	3年	32.5	28.9	23.7	14.9
2. 海外での仕事	1年	21.6	36.6	26.1	15.7
	2年	21.8	38.5	26.7	13.0
	3年	28.1	33.3	25.1	13.5
3. 最先端技術に関する仕事	1年	21.2	33.3	32.3	13.2
	2年	27.0	35.2	21.6	16.2
	3年	25.9	27.8	28.1	18.2
4. 医療・福祉に関する仕事	1年	24.9	31.9	29.2	14.0
	2年	24.1	26.7	28.9	20.3
	3年	24.0	27.0	28.1	20.9
5. 動物や植物に関する仕事	1年	13.5	37.9	34.6	14.0
	2年	14.7	32.6	35.0	17.7
	3年	25.4	27.3	32.9	14.4
6. 宇宙に関する仕事	1年	13.9	35.1	34.3	16.7
	2年	19.1	31.8	28.6	20.5
	3年	18.2	31.9	31.4	18.5
7. 教育に関する仕事	1年	17.0	32.0	30.8	20.2
	2年	13.3	34.2	29.1	23.4
	3年	22.6	25.6	26.5	25.3
8. 環境問題に関する仕事	1年	5.6	33.6	43.8	17.0
	2年	8.3	36.3	38.4	17.0
	3年	19.6	38.8	27.3	14.3
9. マスコミに関する仕事	1年	14.4	29.6	32.4	23.6
	2年	10.2	22.6	34.9	32.3
	3年	17.1	27.8	28.9	26.2

4 将来(4 ~ 5 年先)の社会情勢

表1 - 12は、4 ~ 5年先の社会情勢を予測したものである。全体の割合では「国際化が進んで外国の企業に就職する人が多くなる」がトップで71.0%、続いて70.8%が「企業規模よりも仕事内容が重視されている」である。また「就職は学歴やコネではなく、本人の実

力で決まる」が66.7%と、現実社会の流れを厳しくみつめているようである。男女雇用機会均等法もでき、男女の差別雇用などもすたれていくことは目に見えている(58.6%)。進学率が伸びてきたにもかかわらず、少子化で大学も入学が容易になるだろうといわれて

表1 - 12 将来(4 ~ 5 年先)の社会情勢

(%)

	かなり そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 国際化が進んで外国の企業に就職する人が多くなる	19.1	51.9	25.3	3.7
	└──────────┘ 71.0			
2. 企業規模よりも仕事内容が重視されている	18.9	51.9	25.8	3.4
	└──────────┘ 70.8			
3. 就職は学歴やコネではなく、本人の実力で決まる	29.5	37.2	25.7	7.6
	└──────────┘ 66.7			
4. 大学に入るのはやさしくなり、卒業するのが難しくなっている	17.7	42.4	32.8	7.1
	└──────────┘ 60.1			
5. 仕事をする際に男女で差別されることがなくなっている	18.4	40.2	33.9	7.5
	└──────────┘ 58.6			
6. 仕事を持ちながらボランティア活動をする人が増える	8.3	33.1	44.0	14.6
	└──────────┘ 41.4			
7. 仕事より趣味などを優先した生活ができる	7.2	21.9	54.5	16.4
	└──────────┘ 29.1			
8. 学校を卒業したら望み通りの仕事につける	2.1	9.9	51.0	37.0
	└──────────┘ 12.0			

いるが、同時に大学改革の火がそこまで来ているのを感じているのか、卒業は難しくなるとも予測している(60.1%)。そうしてやっと卒業しても、希望通りの就職もままならぬ時代になることがそこまで迫っていることを、今いわれている「超氷河期」などという言葉とともに、高校生たちはうすうす感じているのだろう(希望通りの就職可能12.0%)。ボランティア活動(41.4%)や趣味を生かした生活(29.1%)なども、望ましいものの、なかなかそこまで余裕が持てるとは考えていな

いようである。

表1-13は性別に社会情勢を予測したものである。「かなりそう思う」と「まあそう思う」の合計で男子が上回っているのは、「就職は実力次第」(男子68.2% > 女子65.0%)、「仕事での男女差別なし」(男子59.2% > 女子58.1%)、「仕事より趣味優先」(男子31.8% > 女子26.3%)、「卒業後希望通り就職可能」(男子14.6% > 女子9.2%)で、その他は女子の方が割合が多い。

表1-13 将来(4~5年先)の社会情勢 × 性

		(%)			
		かなり そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 国際化が進んで外国の企業に就職する人が多くなる	男子	20.1	48.0	27.0	4.9
	女子	18.0	56.1	23.5	2.4
2. 企業規模よりも仕事内容が重視されている	男子	19.5	48.9	26.4	5.2
	女子	18.2	55.1	25.1	1.6
3. 就職は学歴やコネではなく、本人の実力で決まる	男子	31.4	36.8	23.3	8.5
	女子	27.6	37.4	28.2	6.8
4. 大学に入るのはやさしくなり、卒業するのが難しくなっている	男子	18.6	38.2	32.3	10.9
	女子	16.8	46.7	33.4	3.1
5. 仕事をする際に男女で差別されることがなくなっている	男子	21.0	38.2	32.1	8.7
	女子	15.7	42.4	35.7	6.2
6. 仕事を持ちながらボランティア活動をする人が増える	男子	7.5	29.5	44.6	18.4
	女子	9.2	36.9	43.4	10.5
7. 仕事より趣味などを優先した生活ができる	男子	9.8	22.0	50.2	18.0
	女子	4.5	21.8	59.0	14.7
8. 学校を卒業したら望み通りの仕事につける	男子	2.4	12.2	48.4	37.0
	女子	1.8	7.4	53.9	36.9

表1-14は学年差をみたものである。学年による差はあまりないが、「かなりそう思う」と「まあそう思う」の合計で5%以上開いているのが、「仕事での男女差別なし」1年63.5%>2年57.0%、3年53.5%と、「企業規模より仕

事内容重視」1年74.4%>3年68.8%、2年68.5%で、次が「就職は学歴、コネではなく、実力次第」で1年70.4%>2年66.2%、3年61.4%である。全般に1年生の方が社会情勢を厳しくみていることがわかる。

表1-14 将来(4~5年先)の社会情勢 × 学年

(%)

		かなり そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 国際化が進んで外国の企業に就職する人が多くなる	1 年	17.6	53.5	26.3	2.6
	2 年	21.9	50.9	23.5	3.7
	3 年	17.1	50.9	26.5	5.5
2. 企業規模よりも仕事内容が重視されている	1 年	16.9	57.5	23.0	2.6
	2 年	18.3	50.2	27.7	3.8
	3 年	22.9	45.9	27.1	4.1
3. 就職は学歴やコネではなく、本人の実力で決まる	1 年	33.2	37.2	23.2	6.4
	2 年	26.5	39.7	26.7	7.1
	3 年	28.4	33.0	28.1	10.5
4. 大学に入るのはやさしくなり、卒業するのが難しくなっている	1 年	15.4	41.9	37.0	5.7
	2 年	17.3	44.5	30.7	7.5
	3 年	22.0	39.7	29.5	8.8
5. 仕事をする際に男女で差別されることがなくなっている	1 年	23.4	40.1	29.6	6.9
	2 年	15.9	41.1	36.2	6.8
	3 年	14.3	39.2	36.9	9.6
6. 仕事を持ちながらボランティア活動をする人が増える	1 年	6.1	36.2	43.7	14.0
	2 年	7.8	31.2	45.6	15.4
	3 年	12.7	31.2	42.0	14.1
7. 仕事より趣味などを優先した生活ができる	1 年	7.1	22.0	56.2	14.7
	2 年	6.9	21.2	54.4	17.5
	3 年	7.7	22.9	52.0	17.4
8. 学校を卒業したら望み通りの仕事につける	1 年	1.7	10.2	51.8	36.3
	2 年	2.8	9.9	54.4	32.9
	3 年	1.7	9.4	44.5	44.4

第2章 ||||

将来の生活・結婚・家庭像

現在は、出生率が減少し少子高齢化社会となり、一方で女性の高学歴化と社会進出は経済的自立と多様な生き方を選択できる可能性をもたらした。それにより結婚観が変化し、「結婚＝女性の幸せ」という意識も大きく変化した。男女共同参画社会の実現のための男女雇用機会均等法をはじめ様々な法的整備も

されつつある。そうした変革社会の中で高校生活を送っている高校生が自分の10年後の生活や結婚・家庭をどのようにとらえているのだろうか。

ここでは、高校生の10年後の生活や結婚・家庭に焦点を当てて、高校生が描く21世紀の家族観、家庭像を探っていきいたい。

1 10年後の生活

高校生は10年後、26、27歳頃の生活にどんな見通しを持っているのだろうか。

表2 - 1は「10年後にどんな生活が送れるようになっているか」尋ねた結果である。「きっとできている」数値に着目してみると、「親から自立して暮らしている」が最も高く60.0%、次いで「気の合った多くの友人を持っている」41.2%、「幸せな家庭生活を送っている」36.9%、「好きな相手と結婚している」36.4%、「趣味の面で満ち足りた生活を送っている」32.4%と、確実に実現可能と考える数値は3割を超える程度である。しかし、「たぶんできている」という希望的な意識を

合わせると、ほとんどすべての項目で7割を超え、「親から自立して暮らしている」と回答した者は95.7%に達し、仕事、家庭生活、趣味、友だち関係でかなり満足した生活が送れると考えている。

表2 - 2は、男女差や学年差を示した。数値は「きっとできている」割合である。「親から自立して暮らしている」と答えた割合は、男子が女子の数値を大きく上回っており（男子65.0% > 女子54.7%）男子に親から自立しようとする意欲の高さを感じられる。一方女子は、「幸せな家庭生活を送っている」「好きな相手と結婚している」「自分に合った仕事

をしている」「子どもに恵まれている」「気の合った多くの友人を持っている」など家庭生活や友だち関係で、男子に比べ若干数値が高い。学年差では、「親からの自立」「趣味の充実」「友だち関係」の項目で、学年が上がるにつれ達成できると考える割合も高くなっている。

この結果を理系・文系でみたのが図2 - 1である。「絶対理系+まあ理系」の38.8%を理系群、「絶対文系+まあ文系」の42.5%を文系群と分類した。図によれば、10年後の生活は全般に理系タイプの生徒が達成の可能性は高いと考えているが、両群に大きな差はみられない。

表2 - 1 10年後どんな生活をしているか

(%)

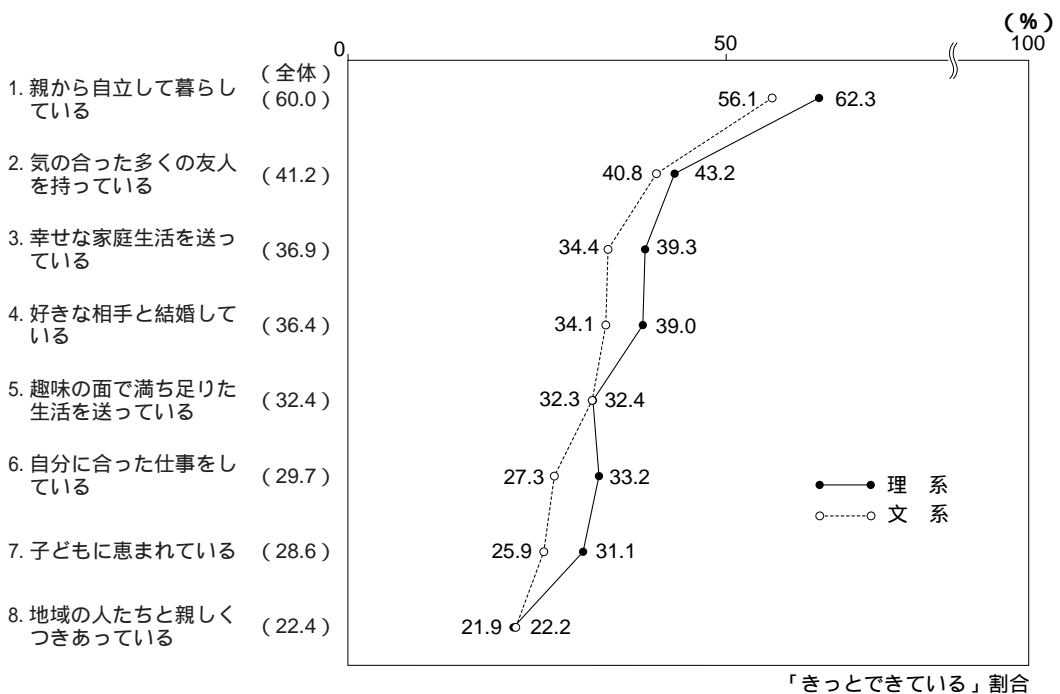
	きっと できている	たぶん できている	たぶん できていない	ぜんぜん できていない
1. 親から自立して暮らしている	60.0	35.7	4.2	0.1
	95.7			
2. 気の合った多くの友人を持っている	41.2	47.2	9.9	1.7
	88.4			
3. 自分に合った仕事をしている	29.7	55.1	13.7	1.5
	84.8			
4. 幸せな家庭生活を送っている	36.9	42.1	16.2	4.8
	79.0			
5. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている	32.4	45.9	20.2	1.5
	78.3			
6. 地域の人たちと親しくつきあっている	22.4	51.5	21.4	4.7
	73.9			
7. 好きな相手と結婚している	36.4	37.4	20.6	5.6
	73.8			
8. 子どもに恵まれている	28.6	40.8	21.9	8.7
	69.4			

表2 - 2 10年後どんな生活をしているか × 性・学年

	性 別		学 年		
	男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 親から自立して暮らしている	65.0 >> 54.7		<u>57.4</u>	59.6	(64.4)
2. 幸せな家庭生活を送っている	34.1 < 39.9		37.2	35.2	39.1
3. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている	34.7 < 29.9		<u>30.9</u>	31.3	(36.5)
4. 好きな相手と結婚している	33.9 < 39.1		35.9	35.2	39.2
5. 自分に合った仕事をしている	27.0 < 32.6		29.3	30.7	28.9
6. 子どもに恵まれている	25.2 < 32.2		28.0	28.6	29.5
7. 地域の人たちと親しくつきあっている	21.1 < 23.7		21.2	21.8	25.1
8. 気の合った多くの友人を持っている	37.6 < 45.0		41.8	<u>38.0</u>	(45.2)

「きっとできている」割合
 > 5%以上 >> 10%以上の差
 ○ 最大値 — 最小値 5%以上の差

図2 - 1 10年後どんな生活をしているか × 理系・文系



2 結婚後の夫婦関係

26、27歳頃とすると、そろそろ結婚を意識する者も多くなるだろう。そこで、生徒の結婚観をみてみよう。21世紀の初期、生徒たちはどんな結婚観を持って、どんな家庭を築こうとしているのだろうか。

表2 - 3は、結婚後の夫と妻の関係である。「お互いに頼り合っている夫婦」と答えた者が60.0%と最も多い。続いて、「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」20.2%、「どちらかというと夫がしっかりリードする夫婦」15.3%、「どちらかというと妻がしっかりリードする夫婦」4.5%となる。男女別では、

男子に「お互いに頼り合っている夫婦」を期待する割合が高く、女子に「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」の割合が高い傾向がみられる。学年別では、学年が上がるにつれ、「お互いに頼り合っている夫婦」が減少し、「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」の割合が高くなる。

性差が顕著だった「お互いに頼り合っている夫婦」「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」の2項目について、成績との関連をみたのが右の通りである。

表2 - 3 結婚後の夫婦関係 × 性・学年

	どちらかという 夫がしっかりリード する夫婦	お互いに 頼り合っている 夫婦	どちらかという 妻がしっかりリード する夫婦	それぞれが独立した 生き方を尊重して いる夫婦
全 体	15.3	60.0	4.5	20.2
男 子	11.0	68.1	6.7	14.2
女 子	19.8	51.6	2.2	26.4
1 年	16.7	63.6	3.0	16.7
2 年	13.2	62.3	4.3	20.2
3 年	16.3	50.7	7.2	25.8

∨ は10%以上の差

・お互いに頼り合っている夫婦 (%)

	上	中の上	中	中の下	下
男子	73.8	62.8	75.2	66.9	62.1
女子	42.1	49.6	49.1	54.5	55.1

・それぞれが独立した生き方を尊重する夫婦

	上	中の上	中	中の下	下
男子	7.7	18.2	11.7	12.2	18.2
女子	42.1	25.9	31.0	24.7	18.6

男子は成績上位者が、女子は成績が下位になるほど、「お互いに頼り合っている夫婦」の割合が高くなる。一方、「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」では、女子の成績上位者に圧倒的に高い数値がみられ、婚姻により自分の個人的な生活を制約されないこと、夫とはパートナーとして生活したいと期待する様子が見えてくる。

表2-4は理系・文系のタイプから結婚後の夫婦関係をみたものである。「お互いに頼り合っている夫婦」は理系に、「それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦」は文系の生徒に数値が高い。理系は男子が、文系は女子が多いので、性差と傾向が重なる。

それでは、結婚後の女性(妻)のライフスタイルをみてみよう。表2-5は、結婚後の女性(男子は妻)の就労形態から女性がどのようなライフスタイルを期待しているかを探ってみた。表によれば、「子育てにめどがついたらまた働く」が45.0%と最も多く、次いで「ずっと仕事を続ける」24.6%、「子どもが生まれるまで働く」16.3%となる。子育ての時期に中断することはあるが、結婚後も女性(妻)が職業を持つことを85.9%が期待している。「結婚したら家庭に入る」は14.1%にすぎない。

表2-4 結婚後の夫婦関係 × 理系・文系

	どちらかという 夫がしっかりリード する夫婦	お互いに 頼り合っている 夫婦	どちらかという 妻がしっかりリード する夫婦	それぞれが独立した 生き方を尊重して いる夫婦
理系	12.7	69.0	3.7	14.6
文系	17.6	53.6	4.6	24.2

∨ は5%以上の差

表2-5 結婚後の女性(妻)のライフスタイル × 性・学年

	結婚したら 家庭に入る	子どもが生まれる まで働く	子育てにめどが ついたらまた働く	ずっと 仕事を続ける
全体	14.1	16.3	45.0	24.6
男子	20.0	19.7	39.5	20.8
女子	8.0	12.8	50.7	28.5
1年	17.3	18.2	42.6	21.9
2年	12.9	16.4	44.3	26.4
3年	11.0	13.2	49.7	26.1

∨ は5%以上の差

この結果を性別にみると、「子育てにめどがついたらまた働く」男子39.5% < 女子50.7%、「ずっと仕事を続ける」男子20.8% < 女子28.5%と、女子に結婚後も職業を持つことを希望する割合が高い。男子は、「結婚したら家庭に入る」が20.0%で女子の8.0%を大きく上回っている。現在も女性の社会進出の意欲は高い。そして社会全体としても男女共同参画社会へ移行し、つい先頃女性の知事も出現している。今の高校生が結婚する頃はもっと女性の社会的な活躍の場は増えるのだろうが、男子の「結婚したら家庭に入る」が2割は気になる数値である。理系・文系のタイプ別では大きな差はみられない(表

2 - 6)

成績と性別のクロス結果でみると、成績上位の女子の職業意識が高い(表2 - 7)

次に、結婚後の夫婦の姓について、どのように考えているのだろうか。夫婦の氏は民法750条に「夫婦は婚姻の際に定めるところに従い、夫または妻の氏を称する」と定められているが、事実上は夫の氏を称する場合が圧倒的である。夫婦の姓の問題も含め現行の民法が現状に適応しにくくなり、現在内閣法制審議会から答申が示され、婚姻・親子に関する民法の改正が図られようとしている。しかし課題も多く、なかなか国会に提案されるに至っていないのが現状である。

表2 - 6 結婚後の女性(妻)のライフスタイル × 理系・文系

(%)

	結婚したら家庭に入る	子どもが生まれるまで働く	子育てにめどがついたらまた働く	ずっと仕事を続ける
理系	15.4	18.9	41.7	24.0
文系	11.6	14.2	49.5	24.7

表2 - 7 結婚後の女性(妻)のライフスタイル × 性・成績

(%)

		結婚したら家庭に入る	子どもが生まれるまで働く	子育てにめどがついたらまた働く	ずっと仕事を続ける
男子	上	24.2	15.2	31.8	28.8
	中の上	18.4	22.1	35.2	24.3
	中	17.0	22.2	43.8	17.0
	中の下	20.4	21.8	34.7	23.1
	下	21.6	14.9	45.5	18.0
女子	上	5.3	0.0	52.6	42.1
	中の上	3.6	15.1	48.9	32.4
	中	8.8	12.4	46.1	32.7
	中の下	7.9	14.5	55.2	22.4
	下	11.4	13.2	53.2	22.2

そこで、高校生に夫婦の姓について、その意識を尋ねた。表2 - 8によれば、「男性の姓を名のる」と考えている者は47.5%、「別にどちらの姓を名のってもかまわない」が49.9%と両群がほぼ半数を占め、「女性の姓を名のる」(0.3%)、「夫婦別姓」(2.3%)はわずかである。特に、男性の姓にこだわらないが、夫婦別姓には抵抗を示していることがうかがえる結果である。

そして、結婚後「男性の姓を名のる」が男子40.3% < 女子54.9%と、「男性の姓を名のる」ことを希望する女子の割合が高い傾向がみられる。逆に「別にどちらの姓を名のってもかまわない」は男子56.5% > 女子43.0%と、男

子の方に多い。内閣法制審議会の答申では選択的夫婦別姓も示されているが、高校生にはほとんど支持されていない。「男性の姓を名のる」ことは女子、「別にどちらの姓を名のってもかまわない」ことは男子に多い。民法については、高校の授業でも取り扱う内容であり、印象として、男子はどちらでもかまわないと思いながらも婚姻届を提出するときは、きっと女性は男性の姓を名のってくれるだろうという期待を持っていると推測できる。

表2 - 9は成績との関連を示した。成績が上位の者は「別にどちらの姓を名のってもかまわない」割合が高く、成績の下位になると

表2 - 8 結婚後の夫婦の姓 × 性

	男性の姓を名のる	女性の姓を名のる	夫婦別姓	別にどちらの姓を名のってもかまわない
全 体	47.5	0.3	2.3	49.9
男 子	40.3	0.4	2.8	56.5
女 子	54.9	0.3	1.8	43.0

∇ は10%以上の差

表2 - 9 結婚後の夫婦の姓 × 成績

	男性の姓を名のる	女性の姓を名のる	夫婦別姓	別にどちらの姓を名のってもかまわない
上	41.3	0.0	3.8	54.9
中の上	46.6	0.0	1.4	52.0
中	48.1	0.0	3.0	48.9
中の下	49.4	0.7	0.7	49.2
下	48.1	0.8	3.0	48.1

「男性の姓を名のる」割合が増える傾向がみられる。全体として夫婦別姓への理解は薄く、現実には夫婦は同姓で夫の姓を名のることを期待する傾向は変わっていないように思う。しかし、21世紀は「どちらの姓でもかまわない」とする意識がさらに進んで、「夫婦別姓」の選択も可能な、個人を尊重した社会を期待したい。

次に子どもの有無をみてみよう。近年、科学の進歩により、避妊・妊娠・出産などについては人類が簡単にコントロールできる時代である。結婚後子どもを何人くらい産むか、産む時期はいつ頃かと、女性のライフステージの中で計画できるように変化した。また、

経口避妊薬も解禁され、女性が避妊を主体的にコントロールできるようにもなった。つまり女性は自分の人生の中で避妊・妊娠・出産を決定し、計画的な人生設計をし、生きることを可能にした。そうした背景を考えながら高校生たちに結婚後、子どもは何人ほしいかと尋ねてみた。

表2 - 10によれば、「2人」が66.6%と圧倒的である。次いで「3人」が19.9%と、夫婦に子ども数が2～3人というのが高校生の描く家族構成で、21世紀も現状と変わらない傾向と考えられる。性別ではほとんど差がみられない。

表2 - 10 結婚するとしたら子どもは何人ほしいか × 性

	(%)				
	1人	2人	3人	4人以上	1人もいない
全体	5.6	66.6	19.9	2.7	5.2
男子	6.8	65.8	19.4	3.2	4.8
女子	4.2	67.5	20.5	2.2	5.6

○は最大値

3 結婚後の家事や育児分担

結婚後、家事や育児分担はどのようになっていくのだろうか。夫婦の家事や育児分担を表2 - 11でみてみよう。表は、「朝食作り」から「子どものしつけ」までの家事・育児について、夫と妻がどのように分担すべきかを尋ねた結果を示した。「夫と妻が半々」の数値に注目すると、「子どものしつけ」が87.8%と最も高く、次いで「子どもを寝かしつける」「オムツのとりかえ」「夕食後の片づけ」「子

どもをお風呂に入れる」「部屋の掃除」が6割前後となる。そして「妻が半分以上+ほとんどする」が高い項目は「朝食作り」70.0%、「夫がほとんど+半分以上する」割合の高い項目は「ゴミ出し」42.5%、「子どもをお風呂に入れる」37.4%である。子どもの世話は夫と妻、食事作りは妻、ゴミ出しは夫の分担というのが大まかな傾向である。

表2 - 11 結婚後の家事や育児分担

(%)

	夫が ほとんどする	夫が 半分以上する	夫と妻が 半々	妻が 半分以上する	妻が ほとんどする
1. 朝食作り	1.5	0.8	27.7	32.0	38.0
	2.3			70.0	
2. 夕食後の片づけ	2.6	6.7	59.0	18.7	13.0
	9.3			31.7	
3. 部屋の掃除	1.4	2.0	57.1	27.1	12.4
	3.4			39.5	
4. ゴミ出し	17.4	25.1	45.8	7.3	4.4
	42.5			11.7	
5. オムツのとりかえ	1.1	1.5	61.5	24.2	11.7
	2.6			35.9	
6. 子どもをお風呂に入れる	12.2	25.2	57.5	3.3	1.8
	37.4			5.1	
7. 子どもを寝かしつける	1.3	2.8	62.8	24.2	8.9
	4.1			33.1	
8. 子どものしつけ	1.6	3.4	87.8	5.4	1.8
	5.0			7.2	

表2 - 12は性別で示した。「夫と妻が半々」の数値をみると、

	男子	女子
・朝食作り	28.5%	27.0%
・夕食後の片づけ	57.1	60.9
・部屋の掃除	61.5	> 52.6
・ゴミ出し	44.4	47.2
・オムツのとりかえ	55.1	< 68.3
・子どものお風呂	57.6	57.6
・子どもを寝かしつける	59.7	< 66.3
・子どものしつけ	81.2	< 94.6

(> は 5 % 以上の差)

女子の方がより育児領域で夫と半々に分担したいという意識が強い傾向がうかがえる。

結婚について意識が大きく変化したといわ

れるが、高校生にはまだ実感がないのだろうか。データからは、夫婦の姓で「別にどちらの姓を名のってもかまわない」が「男性の姓を名のる」と同数の結果であったこと、また、夫の家事・育児分担としては「ゴミ出し」と「子どものお風呂の世話」が上位を占めたことは、女子が夫に子どもの養育で対等の分担を期待しているにもかかわらず、実際にはゴミ出しとお風呂の世話という結果であり、21世紀も家庭内での夫と妻の役割分担に課題を残す結果であった。

女性・男性を個人として尊重し、相手の人権を尊重しようとする態度や、民法など法的な問題にも関心が薄い結果であった。

表2 - 12 結婚後の家事や育児分担 × 性

(%)

		夫が	夫が	夫と妻が	妻が	妻が
		ほとんどする	半分以上する	半々	半分以上する	ほとんどする
1. 朝食作り	男子	1.8	1.0	28.5	33.4	35.3
	女子	1.2	0.5	27.0	30.6	40.7
2. 夕食後の片づけ	男子	3.7	8.8	57.1	17.8	12.6
	女子	1.5	4.6	60.9	19.6	13.4
3. 部屋の掃除	男子	2.7	3.0	61.5	22.2	10.6
	女子	0.0	0.9	52.6	32.3	14.2
4. ゴミ出し	男子	16.5	24.8	44.4	8.4	5.9
	女子	18.3	25.5	47.2	6.2	2.8
5. オムツのとりかえ	男子	1.5	1.5	55.1	26.8	15.1
	女子	0.5	1.5	68.3	21.5	8.2
6. 子どもをお風呂に入れる	男子	12.6	22.3	57.6	4.5	3.0
	女子	11.7	28.2	57.6	2.0	0.5
7. 子どもを寝かしつける	男子	2.3	3.0	59.7	25.9	9.1
	女子	0.1	2.6	66.3	22.4	8.6
8. 子どものしつけ	男子	3.0	5.7	81.2	7.0	3.1
	女子	0.1	1.1	94.6	3.7	0.5

第3章 IIIII

高校生の未来の生活ぶり と情報化社会の生き方

先行きの不透明感や高齢化から、楽観よりも悲観的な考え方が上回っている状況の中で、今の高校生は将来どんな生き方をしようとしているのか。そして自分が老後を迎える頃の日本の社会をどのようにイメージしてい

るのか。さらに、高齢化社会の到来が予想される中で高校生は介護について、どのように思っているのか。本章ではこれからの30年後、50年後の社会に自分を置いたときの生き方を尋ねた調査結果を概観しよう。

1 30年後と50年後の生活

今から30年後、つまり高校生が46歳から48歳の働き盛りの時代にどのような生活が送れるようになっているかを尋ねた結果が表3-1である。性別・学年別にクロス分析を行った集計表である。

全体でみて割合の一番高い回答は「幸せな家庭生活を送っている」(88.6%)と「気の合った多くの友人を持っている」(88.5%)である。そのいずれも女子の割合が9割以上である。

「親の面倒をみている」割合は68.7%と他の回答がほぼ8割を超えているのに比べて低い。自分の親の年齢に達したとき、今の親の面倒をみるのに不安を持っているのだろうか。

高校生の8割が、30年後の自分に合った仕事をしているし、子育ても上手にこなし、地域の人たちと親しくつきあうことができると答えている。

また、性別でみた場合、「地域の人たちと楽しくつきあっている」「幸せな家庭生活を送っている」「気の合った多くの友人を持っている」「親の面倒をみている」割合は女子に多いのが目立つ。

また、成績別にみると(表3-2)、上位層の90%近くは「幸せな家庭生活を送っている」と答えている。「気の合った多くの友人を持つ」ことができると答えている割合が80%以上で成績に関係なく高い。ただ成績の上位層も自分の成績が「下」と答えている層

も「親の面倒をみている」と答えている割合が低い(成績上+中の上=69.3%、中の下=66.5%、下=66.1%)

次に50年後の生活について、今の高校生はどのようにイメージしているのだろうか。それを表したのが表3-3である。

表3-3をみてわかるように、「自分に合った仕事を続けている」「子どもに面倒をみてもらっている」と答えたのが5割前後である。仕事を続けている割合が低いのは女子に顕著である(48.2%)

そして、「趣味の面で満ち足りた生活を送

表3-1 30年後の生活 × 性・学年

(%)

		全 体	性 別		学 年		
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 自分に合った仕事を している	きつと	34.2	34.1	34.2	33.6	35.5	33.1
	たぶん	48.6	48.3	48.8	51.1	47.7	45.7
	小 計	82.8	82.4	83.0	84.7	83.2	78.8
2. 親の面倒をみている	きつと	17.1	16.5	17.8	15.3	17.9	18.7
	たぶん	51.6	49.1	54.0	52.7	52.1	48.8
	小 計	68.7	65.6	71.8	68.0	70.0	67.5
3. 幸せな家庭生活を送っている	きつと	38.0	32.9	43.4	36.9	38.3	39.5
	たぶん	50.6	51.5	49.6	53.2	49.9	47.2
	小 計	88.6	84.4	93.0	90.1	88.2	86.7
4. 子育てを上手にやっている	きつと	26.1	23.9	28.4	25.1	26.0	27.9
	たぶん	56.7	55.6	57.8	58.0	56.8	54.1
	小 計	82.8	79.5	86.2	83.1	82.8	82.0
5. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている	きつと	32.8	33.5	32.1	31.5	31.6	36.9
	たぶん	45.9	44.8	47.2	46.6	47.6	42.1
	小 計	78.7	78.3	79.3	78.1	79.2	79.0
6. 地域の人たちと親しくつきあっている	きつと	26.5	23.6	29.5	25.2	26.0	29.2
	たぶん	53.5	51.0	56.2	54.5	53.0	52.9
	小 計	80.0	74.6	85.7	79.7	79.0	82.1
7. 気の合った多くの友人を持っている	きつと	40.1	34.4	46.2	41.8	36.3	43.5
	たぶん	48.4	50.5	46.1	48.1	50.5	45.4
	小 計	88.5	84.9	92.3	89.9	86.8	88.9

きつと=きつとできている
たぶん=たぶんできている

っている」(88.5%)、「気の合った多くの友人を持っている」(87.8%)と今の高校生の8割前後が考えている。

性別で見ると、女子の方が地域の人と親しくつきあい、幸せな家庭生活を送り、よい孫に恵まれている、と多く答えている。さらにそ

れぞれ学年別で見ると、1年生で割合が高い。

以上のように、高校生の30年後、50年後の生活は比較的「安定志向」といえよう。

表3 - 2 30年後の生活 × 成績

(%)

	全 体	成 績				
		上	中の上	中	中の下	下
1. 自分に合った仕事をしている	82.8	86.5 (85.1)	84.5	85.9	81.2	77.3
2. 親の面倒をみている	68.7	57.7 (69.3)	73.6	71.3	66.5	66.1
3. 幸せな家庭生活を送っている	88.6	84.6 (89.4)	91.3	91.8	89.1	84.1
4. 子育てを上手にやっている	82.8	83.6 (83.3)	83.2	85.9	81.7	79.5
5. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている	78.7	75.9 (78.2)	79.0	81.6	77.3	76.7
6. 地域の人たちと親しくつきあっている	80.0	74.0 (76.4)	77.2	80.2	86.5	78.7
7. 気の合った多くの友人を持っている	88.5	87.5 (88.4)	88.8	89.1	80.8	86.6

「きつと」+「たぶん」できている割合
()内は上+中の上

表3 - 3 50年後の生活 × 性・学年

(%)

		全 体	性 別		学 年		
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 自分に合った仕事を続けている	きっと	18.1	21.1	15.0	15.4	19.6	20.1
	たぶん	36.1	38.9	33.2	38.3	36.0	32.8
	小 計	54.2	60.0	48.2	53.7	55.6	52.9
2. 子どもに面倒をみてもらっている	きっと	4.5	4.8	4.2	3.5	5.4	4.7
	たぶん	42.5	43.2	42.0	42.0	45.2	39.5
	小 計	47.0	48.0	46.2	45.5	50.6	44.2
3. 幸せな家庭生活を送っている	きっと	32.7	29.1	36.5	30.7	33.6	34.4
	たぶん	52.9	51.7	54.1	56.6	52.3	48.0
	小 計	85.6	80.8	90.6	87.3	85.9	82.4
4. よい孫に恵まれている	きっと	33.6	30.6	36.7	32.7	34.0	34.3
	たぶん	50.3	49.2	51.5	52.8	49.1	48.2
	小 計	83.9	79.8	88.2	85.5	83.1	82.5
5. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている	きっと	43.0	42.2	43.8	41.6	43.4	44.6
	たぶん	45.5	43.5	47.7	46.9	47.1	40.8
	小 計	88.5	85.7	91.5	88.5	90.5	85.4
6. 地域の人たちと親しくつきあっている	きっと	35.9	33.2	38.8	34.6	36.9	36.5
	たぶん	48.9	46.6	51.3	51.2	46.8	48.6
	小 計	84.8	79.8	90.1	85.8	83.7	85.1
7. 気の合った多くの友人を持っている	きっと	41.5	37.0	46.3	42.0	39.9	43.3
	たぶん	46.3	47.1	45.5	46.3	47.2	44.8
	小 計	87.8	84.1	91.8	88.3	87.1	88.1

きっと = きっとできている
たぶん = たぶんできている

2 老後を迎える頃の日本の社会

総理府の「高齢期の快適性に関する世論調査」(1992年)によれば、60歳未満の成人56.1%は、高齢期を快適に生活するために「暮らしやすい地域の生活環境」が重要だと答えている。また、高齢者は高齢期に住む場所として「水や空気がきれいなど自然の豊かな面」が重要としている。

それでは高齢者自身の問題について、今の高校生はどのように思っているのだろうか。定年制、平均寿命、尊厳死、そして年金制度について尋ねてみた。

表3 - 4によると、「会社などの定年制はなくなり、働く意志があればいつまでも働ける」と思う高校生はほぼ43%である。定年後に働き続けるかどうか自由に選択できる社会になっていると思う高校生は半数を超えているものの(60.9%)、必ずしも定年後の就労希望がかなえられると思っていない高校生の姿が浮きぼりになった。

性別で見ると、会社に定年制がなくなり、就労意志があればいつまでも働けるような社会になっていると思うのは男子で40.6%、ま

表3 - 4 老後を迎える頃の日本の社会 × 性・学年

(%)

		全 体	性 別		学 年		
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 会社などの定年制はなくなり、働く意志があればいつまでも働ける	かなり	12.2	14.8	9.5	11.6	11.5	14.4
	ま あ	30.4	25.8	35.3	33.9	29.6	26.2
	小 計	42.6	40.6	44.8	45.5	41.1	40.6
2. 50歳代前半に定年があるが、以後引き続き働くかどうかは自由に選択できる	かなり	14.7	15.2	14.1	13.7	15.1	15.5
	ま あ	46.2	43.3	49.3	49.7	47.5	38.6
	小 計	60.9	58.5	63.4	63.4	62.6	54.1
3. 自分の意志で尊厳死が認められる	かなり	21.9	24.1	19.6	20.9	21.4	24.4
	ま あ	32.6	29.2	36.2	34.2	32.2	30.7
	小 計	54.5	53.3	55.8	55.1	53.6	55.1
4. 多くの病気が克服され、平均寿命が100歳を超える	かなり	13.6	15.1	12.0	14.6	12.8	13.3
	ま あ	24.3	22.3	26.4	29.3	21.9	20.2
	小 計	37.9	37.4	38.4	43.9	34.7	33.5
5. 老後の生活を十分保障する年金制度ができています	かなり	10.2	11.7	8.6	11.8	10.4	7.5
	ま あ	23.2	21.0	25.4	30.4	21.2	14.6
	小 計	33.4	32.7	34.0	42.2	31.6	22.1

かなり = かなりそう思う
まあ = まあそう思う

た定年後も自由に就労できると思うが58.5%と女子に比べて低い。

学年別にみても、特に定年後の自由な就労ができると思う割合は3年生で54.1%と低い。

尊厳死が認められる社会になっていると思う割合は54.5%で、女子にやや多い。また、医療が発達し平均寿命が100歳を超える社会をイメージしている高校生は少ない(37.9%)

年金制度が整備されている社会になっていると思う高校生は3割強である。現在予想を上回る少子・高齢化の進行や経済基調の変化

など社会経済状況の変化によって年金制度をとりまく環境は大変厳しいものになっており、年金財政に与える影響も計り知れないものがある。今の高校生はそうした年金制度について十分な知識を持ち合わせていないかもしれない。

しかし、高齢者の老後生活を実質的に支える役割を持つ公的年金制度について、若い世代も納得のいくよう再構築が求められており、高校生もその推移を見守っていくことは大切であろう。

3 高齢の父親・母親への介護

高齢化社会においては介護の問題は避けては通れない。公的介護保険が導入され、ホームヘルパーなどの在宅介護や特別養護老人ホームなどの施設などがたとえ整備されたとしても、家族による介護は必要である。

高齢の父親・母親に対して介護が必要になったとき、今の高校生はどのような方法で介護を行うか尋ねてみた。

表3 - 5をみてわかるように、「自分が一緒に住んで面倒をみる」が21.2%、「自分たち

表3 - 5 高齢の父親・母親への介護 × 性・学年

(%)

	全 体	性 別		学 年		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 自分が一緒に住んで面倒をみる	21.2	22.1	20.2	21.4	19.1	24.3
2. 他のきょうだいに面倒をみてもらう	10.4	13.0	7.6	9.9	12.0	8.6
3. 自分たちの近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる	50.7	41.2	60.8	52.6	50.8	47.5
4. 親たちだけで暮らし、地域の福祉サービスを利用する	11.6	15.7	7.2	11.1	11.5	12.4
5. 特別養護老人ホームなどの施設に入ってもらう	6.1	8.0	4.2	5.0	6.6	7.2

の近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる」と答えた高校生は、50.7%で半数を超えている。性別でみると、特に女子の方が近くに親を呼んで面倒をみると答えている割合は高い(60.8%)。

介護対象者によって介護の方法が異なるのは予想されることであるが、表3-5をみると「介護の外部化」の進展を読み取ることができよう。自宅で自分の家族だけで介護すると答えた割合は21.2%である。介護負担を家族だけでなく、他の親族との協力のし合いや、外部サービス利用への意向を示す傾向はこれから増えるかもしれない。

性別でみると、「外部サービス・施設などの利用」の意向は男子が多い(15.7%)。主として介護は女性が担っているという今日の実態からみて「介護疲れ」の問題は見逃せないし、「介護責任は社会にある」といった意識はこれから増えるだろう。

現状では近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる。しかし希望としては

「外部サービス・施設などの利用」志向も増える傾向にあり、自分たちの手を離れることで不安感や後ろめたさを持つといった問題も出てこよう。若い世代のうちから介護の問題は国民の誰にでも起こり得るものという意識が欲しい。

これに関連して、将来、医療・福祉の仕事につきたいか尋ねた高校生に、自分の親の介護についてどうするかクロスをとってみた。

表3-6をみてわかるように、将来、医療・福祉に関する仕事を「とてもやってみたくない」と考えている高校生は、「自分たちの近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる」割合も高い(55.3%)。そして「一緒に住んで面倒をみる」割合も高い(24.4%)。

医療・福祉に関する仕事を「ぜんぜんやってみたくない」と考える高校生は「近くに親を呼び寄せて、自分やきょうだいで面倒をみる」割合が5割に満たない(40.1%)。「介護の外部化」の傾向がみられる。

表3-6 医療・福祉に関する仕事 × 親への介護

	(%)				
	自分が一緒に住んで面倒をみる	他のきょうだいで面倒をみてもらう	自分たちの近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる	親たちだけで暮らし、地域の福祉サービスを利用する	特別養護老人ホームなどの施設に入ってもらおう
1. とてもやってみたくない	24.4	6.5	55.3	7.3	6.5
2. まあやってみたくない	22.8	8.5	53.8	9.4	5.5
3. あまりやってみたくない	18.5	12.6	50.6	13.3	5.0
4. ぜんぜんやってみたくない	18.6	15.0	40.1	17.9	8.4

4 自分自身の希望する介護

これまでは親の介護について述べてきたが、自分自身のケースはどうだろうか。

表3 - 7は自分に介護が必要になったときの希望を尋ねた結果である。

全体で見ると、「できる限り家族の手で面倒をみてもらいたい」と答えた高校生は36.9%と低い。性別で見ると、男子の方が面倒をみてもらいたいと思う割合が高く(40.7%)、女子は子どもに面倒をかけたくないといった意識の現れが読み取れよう。

「ホームヘルパーを頼み、家族の負担を減らしたい」(24.6%)、「日中は地域のデイサービスセンターで過ごしたい」(20.2%)、「特別養護老人ホームなどの施設に入り、家族の世話にはなりたくない」(18.3%)という流れから、外部サービス利用志向の現れといえる。

自分の親に対する介護では、「一緒に住んで面倒をみる」が21.2%、自分に介護が必要

になったとき、「できる限り家族の手で面倒をみてもらいたい」は36.9%。これをどう解釈したらよいだろうか。自分の親の介護方法の現在と、今後の自分自身の希望する介護方法の割合にズレが生じているのはなぜだろうか。外部サービス意向を示す人が着実に増加しつつある、という指摘がなされる中で、タテマエとホンネについて、もっとくわしく調べることも必要であろう。つまり、主に自宅で自分たちの家族が介護を行い、補助的に外部サービス・施設を利用したいのか、主に外部サービス・施設等を利用したいのか、さらに「他の親族と協力し合って介護する」ことがそれぞれの意向とどうかかわってくるのか。家族間の人間関係そのものに深いかわりがあるだけに、今後も動向をみていくことは大切であろう。

表3 - 7 自分に介護が必要になったとき × 性・学年

(%)

	全 体	性 別		学 年		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. できる限り家族の手で面倒をみてもらいたい	36.9	40.7	33.0	37.5	41.3	28.9
2. ホームヘルパーを頼み、家族の負担を減らしてもらいたい	24.6	22.7	26.6	26.4	22.8	24.7
3. 日中は地域のデイサービスセンターで過ごしたい	20.2	17.9	22.6	18.3	20.1	23.3
4. 特別養護老人ホームなどの施設に入り、家族の世話にはなりたくない	18.3	18.7	17.8	17.8	15.8	23.1

5 考察

海図なき21世紀といわれる。低成長経済は日本の企業経営を根本的に突き崩した。日本型経営といわれてきた労使協調、年功序列、終身雇用といった旧来のシステムが時代にそぐわないといった認識が起きている。急速な変化を迫られているのである。

90年代はまた、少子・高齢化がいつそう進展した時代であった。本調査のテーマである「高校生の将来の生き方」には高齢化に伴う、医療・福祉の負担が大きくなるのしかかるかもしれない。

90年代に積み上げられた負の遺産を若い世代はどう受け止めるのだろうか。安定した雇用構造と充実した福祉環境をさらに求めて21世紀はスタートする。旧来のシステムの見直しと再編成が行われる中で、若い世代に自らが確固たる意志に基づいて人生を切り開いていくことが求められている。

本章では高校生に、自分が今の親と同年齢になる30年後、50年後の社会について予測してもらった。いずれも自分に合った仕事をしているし、子育ても上手にやっている、また、地域の人たちと親しくつきあっていると答えている。50年後の生活でも趣味面で満足のいく生活を送り、また気の合った多くの友人を持てると答えている。

ただ、仕事を続けていられるか、子どもに面倒をみてもらっているかというようなことについては、半分しか思っていない。

子どもは「安定志向」を願う反面、今の親の苦勞がわかっていないし、他人とのかかわりとか責任回避をしがちという指摘がある中で、高齢に達したときの定年退職後の生きがいについて今の高校生はどう考えているのか。

定年退職後の生活空間は一変する。新しい人間関係をつくれるか、地域活動や余暇活動

を通じた人的ネットワークづくりはどうか。これらの課題が追求されつつある中で、本調査は基礎的なデータを提供したものと考えることができる。

公的介護保険が導入され、医療制度や年金制度の拡充といった、基本的な生活を営む上で安心できる基礎づくりが目指されている。高校生は、自分が老後になった社会をどのような社会と考えるのだろうか。

定年制、定年後に働く意志の選択権、尊厳死の整備など、どれも今日の日本が社会システムとしてしっかりとした安全網（セーフティネット）の構築に必要なものばかりだ。

調査の結果をみると、今日の経済不況の影響なのだろうか、今の高校生は、必ずしもバラ色の高齢化社会を想像していないようである。年金制度が整備されている社会になっていると思う高校生は3割強である。

そして介護の問題。親はわが子に対して介護してもらおう期待を持つのは自然だろう。高校生は高齢の親の面倒をみるのか。自分が介護を必要としたときどうするか。

公的介護保険の導入、在宅介護や特別養護老人ホームなどの諸施設が整備されつつあるといっても、家族による介護はなくなるだろう。配偶者の高齢化、老親介護といった異世代間の問題など、ライフサイクルの構造的変化は、ゆっくりであるが起りつつある。

介護保険法をはじめ、介護制度をめぐる諸問題について、高校生は関心が薄いかもしれない。実感がわかないかもしれない。しかし、介護を行う家族には、身体的、精神的、そして経済的な負担がかかっているはずである。

高齢化社会と介護の問題を高校生が身近なものとしてとらえられるようになる上で、本調査は基礎的に重要なデータを私たちに与えてくれるものと思う。

第4章 ||||

将来の高校・学歴・人間関係

ここまででは、高校生自身の将来像を中心にデータを分析してきた。この章では、自分の身の回りから少し視野を広げ、社会に関するデータをみていきたい。具体的には、30年後の高校像、学歴の効用、血縁や地域の間人間関係、就職・職場を中心とした男女差についての項目を検討してゆく。

筆者の世代（40代前半）で30年後を想像すると、高齢化社会の進行、年金財政の破綻などあまりいいことは頭に浮かばない。どうしても気持ちは沈みがちになる。その点、高校生は「今」を生活している。彼らが多少ともリアルに考える未来は、大学進学、就職ぐらいままでであろう。ここは、少々粗野ではある

が、明るく元気に生活している高校生たちに、伸びやかな想像力を働かせてもらい、若々しい21世紀像を描いてほしいと思う。

もちろん、高校生たちの抱く将来像は、現実離れた空想の世界ではない。それは、彼らが今感じ取っている学校の状況、家族やマスコミを通じて見える現在の社会問題などを、ある程度反映したものとなる。したがって、高校生たちが描く21世紀像は、社会の中核にいるわれわれに、今後どのような学校・社会を築いてゆくべきか、重要なヒントを与えてくれるかもしれない。われわれは、高校生たちが示した調査結果を重みのあるものとして、きちんと受け止めてゆかねばならないだろう。

1 30年後の高校生活

学校というところは、社会の変化からかなり遅れて動く面がある。制度や運営のルールにおいてもそうだし、新しいものの導入となると、特にその傾向が著しい。筆者はこの前（自分が生徒であった時代も含め）初めて、学校内で電気掃除機を見た。ようやく学校の掃

除にも電気掃除機が登場したかと、妙な感慨を抱いてしまった。公立高校でエアコンがあるのは、図書室くらいである。携帯電話は、いまだに持ち込み禁止の学校も多い。

このような具合であるから、3年、5年くらいでは、学校はそう変わりそうにない。し

かし、30年後はどうであろうか。生徒に「あなたの子どもの世代が高校生になった頃」高校教育がどう変化しているか、予想してもらった。結果を表4 - 1に示してある。

「そう思う」が最も多かったのは「自宅でインターネットを使って勉強する」である（「かなり・まあそう思う」80.1%）。オフィスに出勤せず、自宅のパソコンに向かい仕事を片づける。こんな光景は20年以上も前から予測されており、現実にも見られるようになってきた。教育界でも、学校の内外でインターネットを生徒の学習に利用しているところは少なくない。将来の高校生が自宅でパソコンを操作しながら勉強する姿は、今の高校生にとって、最も予測しやすい光景なのであろう。

次いで「そう思う」数値が高かったのは「高校の授業科目は自由に選択できる」である（70.4%）。すでに「個性ある学校づくり」の名の下に、総合制高校などで、幅広く多様な科目選択が可能になっている。今後多くの高校が、同じ流れに沿って教育課程の見直しを進めてゆくであろう。生徒たちにもこの空気が伝わって、高い数値につながったと思われる。

「教室から黒板がなくなっている」「教材や連絡のためのプリントは使わなくなっている」も、肯定率が5割を超えている。おそらく30年も経てば、黒板に代わる何らかのディスプレイ装置も登場しているであろう。プリントも生徒の手元で画面表示されるようになるだろう。学校と家庭はネットで結ばれ、

表4 - 1 30年後の学校像

(%)

	かなり そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 自宅でインターネットを使って勉強する	32.8	47.3	16.6	3.3
2. 高校の授業科目は自由に選択できる	22.2	48.2	22.8	6.8
3. 教室から黒板がなくなっている	23.9	30.4	36.8	8.9
4. 教材や連絡のためのプリントは使わなくなっている	20.6	32.6	38.5	8.3
5. 週休3日制になっている	23.5	25.9	34.4	16.2
6. ゆったりとした高校生活が送れる	8.6	33.1	45.6	12.7
7. 高校は義務教育になっている	14.5	23.2	37.9	24.4
8. どの学校からも制服がなくなっている	11.8	23.4	52.1	12.7
9. 部活動は他校の生徒と一緒に校外でやる	7.9	22.1	56.0	14.0
10. LHRの時間が時間割からなくなっている	6.8	16.4	58.1	18.7
11. 志望する大学には誰でも入れるようになる	6.3	15.2	41.6	36.9
12. いじめは少なくなっている	3.4	9.9	45.6	41.1
13. 修学旅行はなくなっている	2.6	5.4	39.9	52.1

「保護者各位」宛のお知らせも直接各家庭に配信される。生徒に配布した保護者宛プリントがなかなか親の手に届かないという教師の長年の悩みも、解消されるかもしれない。「週休3日制になっている」になると、「そう思う」割合は半数をわずかに割る（「かなり・まあそう思う」49.4%）。現在も月に2回は土曜に登校せねばならない生徒たちには、休みが週3日というのは、少し想像しにくいようである。しかしすでに述べたように、インターネットによる学習が発達すれば、学校に行かない日が週3～4日になる時代がくるかもしれない。

さて、「ゆったりとした高校生活が送れる」となると、「そう思う」の数値が大幅に落ちる。一見明るく、楽しそうに高校生活を送っているように見える生徒たちだが、いろいろ話してみると、こちらの想像をはるかに越える強さで受験のプレッシャーを感じている。あるいは、学校側の厳しい生活指導にかなりのストレスをためている。そんな生徒たちをみていると、21世紀の高校生たちには、ぜひともゆったりとした高校生活を送ってもらいたい。しかし、生徒たちは楽観的ではない。「かなりそう思う」は8.6%、「まあそう思う」を加え、ようやく4割である。この数値が、生徒たちの学校生活の実感を反映しているとすれば、考えさせられる結果である。

「どの学校からも制服がなくなっている」は、「あまり・ぜんぜんそう思わない」が64.8%に上る。ふつう、生徒は制服にかかわる様々な細かい規定に強く反発する。しかし制服という制度については、意外と保守的である。筆者の勤務校では、生徒総会で毎年服装規定についての要望が学校側に出される。「ポロシャツ登校を認めてほしい」「上着の代わりにセーターを着るのを許可してほしい」等々。そこで、「いっそ制服廃止を提案したらどうだ」と水を向けると、「えー、それはいやですよ」と強い拒否反応をみせる。制服の基本枠は維持しつつ、そ

の枠の中で自由の幅を広げいろいろおしゃれをしたい。これが生徒の関心事であるらしい。そして、最近では制服そのものが、1つの流行のファッションとなっている。休日のデートやショッピングに、わざわざ制服（といってもミニスカートにルーズソックスであるが）でキメて出かけるのである。いずれにせよ、現代の高校生たちには「制服は自由を束縛するものだから、廃止すべき」という感覚は乏しい。30年後はともかく、まだしばらくは制服はなくならないであろう。

「部活動は他校の生徒と一緒に校外でやる」では、「そう思う」は3割である。しかしこれは、生徒の見方が甘い気がする。この項目は将来の姿というより、現実の問題である。すでに一部の高校では、野球部のようなメジャーな運動部でも、レギュラーの人数が確保できず、近隣の高校と合同チームを組んでいる。部活動の低迷が指摘されるようになって久しい。さらに30年後、部活動が高校の教育活動としてどのような姿になっているのか、見通しは明るくない。

「志望する大学には誰でも入れるようになる」は、肯定率が2割強である。意外と少ない気がする。近年少子化の影響で受験生が減少し、かなりハイレベルな大学も、以前に比べはるかに合格しやすくなっている。やがて、浪人という言葉は死語となり、進学希望者全員がほぼ志望する大学に入れる時代が来る、との見方もある（もちろん、これには異説もある）。いずれにせよ、生徒たちは自分の子どもがどこでも好きな大学に行ける、といった甘い夢は抱いていないようである。

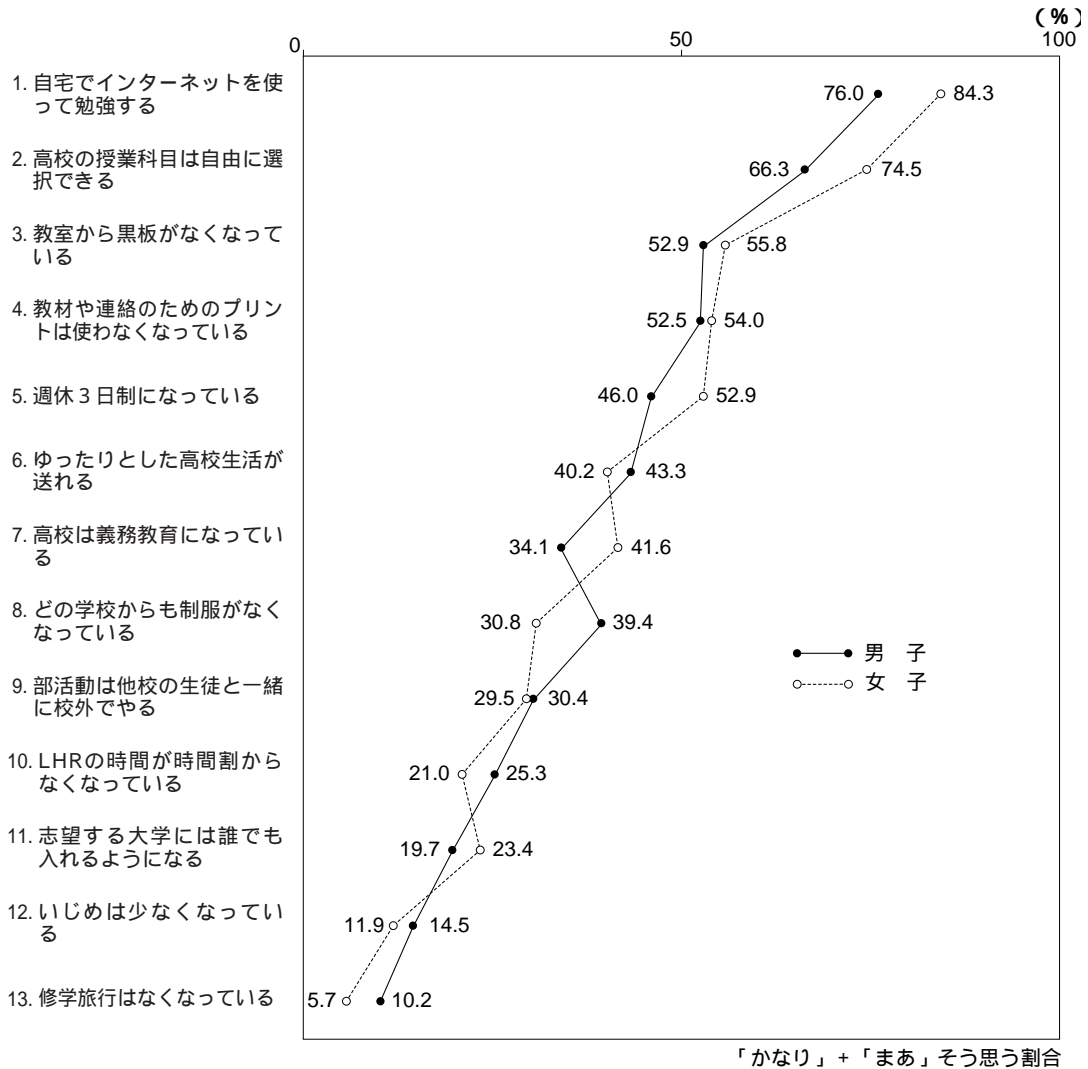
さて、表4-1で最も暗い気持ちにさせられるのは、「いじめは少なくなっている」の数値である。「かなりそう思う」は、わずか3.4%にすぎない。「まあそう思う」を合わせても、13.3%にしかならない。30年経てば、いじめを生み出す社会・学校の状況も変わり、指導法もそれなりに改善されているだろ

う。いじめの撲滅とまではいかなくとも、少なくなっている可能性は十分にある。だが、問うべきは生徒の予想の当否ではない。たとえ30年後であっても、いじめはそうは減っていない。生徒がそう感じていることを重く受け止めなくてはならない。いじめはそこまで今の学校教育の中に根づいてしまっている。

このデータは、私たちにそう語っているのではなかろうか。

なお、図4 - 1に、男女差の結果を示した。女子の方がやや積極的に変化を予想しているが、全体としてそれほど大きな差はみられない。また、図表は省略したが、学年による大きな差もみられなかった。

図4 - 1 30年後の学校像 × 性



2 30年後の一流大学卒業の価値

日本は、長らく学歴社会だといわれてきた。大学進学率が低い時代には、大学を卒業することがエリートへのパスポートであった。大学進学率が上昇すると、一流大学を卒業し、一流企業に就職することが幸福な一生を保証すると考えられてきた。そのため、少しでもランクの高い大学への進学を目指し、さまざまな競争が繰り広げられてきた。

しかし現在、状況は急速に変わりつつある。若年世代の人口減少から、ここ数年私立大学を中心に、入試の難易度が大幅に下がってきている。前述したように、その中には名の通ったかなりハイレベルな大学も含まれている。いわゆる一流大学卒の肩書き、その価値を減ずる可能性は大きい。

また、一流大学卒 一流企業就職 一生安心の図式は、企業の側からも崩れ始めている。「一生安心」を支えてきた終身雇用制と年功序列賃金は、能力主義の諸システムに取って

代わられようとしている。「いい大学」を卒業しても、その後の人生は本人の能力次第という時代が現実のものになりつつあるのが今の流れである。

表4-2をみてみよう。14.9%の生徒は、30年後一流大学卒業の値打ちは「今よりぐんと下がる」と考えている。「やや下がる」32.2%を加えると、「下がる」は全体の47.1%を占める。先輩たちの進学状況やマスコミの報道などで、生徒たちは近年の変化を敏感に感じているのであろう。

だが一方で、予備校関係者を中心に次のような指摘もある。すなわち、一部の超一流大学は銘柄ブランドとして生き残り、その入学を巡る競争は将来も熾烈であり続けるだろうというのである。だとすると、「今とそう変わらない」(39.7%)、「やや上がる」(8.5%)、「ぐんと上がる」(4.7%)も外的な見通しとは言い切れないであろう。

表4-2 30年後の一流大学卒業の価値 × 性・学年

(%)

	全 体	性 別		学 年		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
1. 今よりぐんと値打ちが上がる	4.7	6.8	2.4	5.4	4.2	4.4
2. 今よりやや値打ちが上がる	8.5	8.8	8.3	10.2	8.9	5.2
3. 今とそう変わらない	39.7	38.1	41.4	39.4	39.5	40.4
4. 今よりやや値打ちが下がる	32.2	30.3	34.1	31.6	33.0	31.8
5. 今よりぐんと値打ちが下がる	14.9	16.0	13.8	13.4	14.4	18.2

3 30年後の人間関係

今日の人間関係のあり方については、様々な変化が指摘されてきた。例えば、血縁・地縁といった運命的な関係から、雇用関係のような選択的・契約的關係へのシフト。直接面と向かう関係の減少と、メディアを通じた関係の増加。職業などについての公的關係が軽視され、趣味のサークルなど私的關係が大事とされる傾向など。

それでは、現在の高校生たちは、30年後人間関係はどう変化しているとみるのか。8つの質問項目を用意し、尋ねてみた(表4-3)。項目は「とても・ややそう思う」の合計値が大きい順に並べてある。「とても・ややそう思う」の数値が「あまり・ぜんぜんそう思わない」の数値を上回るのは、次の4項目である。

1. 地域よりインターネットなどによる人間関係が進む
2. 高校生は親からの自立意識が強まる
3. 会社より趣味の人間関係が重視される
4. 自治会・町内会の活動がなくなる

やはり、メディアを通じた関係、私的な関係のウエイトが大きくなると、生徒たちも考えている。地縁的關係が弱まるとみている点も、一般にいわれるところと一致している。また、親からの自立意識は強まるという。

一方、「そう思わない」が「そう思う」を上回るのは、「親子関係は親密になる」「兄弟・姉妹の結束が強まる」「親戚関係は密接になる」などである。血縁關係が弱まるとの認識も、一般と共通である。「結婚して子どもを持つ人が増える」の肯定者はわずか12.5%で、

表4-3 30年後の人間関係

	(%)				
	とても そう思う	やや そう思う	今と 変わらない	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 住んでいる地域よりインターネットなどによる人間関係が進む	19.0	52.8	13.7	11.8	2.7
2. 高校生は親からの自立意識が強くなる	21.2	33.2	32.7	8.4	4.5
3. 会社などの人間関係より趣味などを通じた人間関係が重視される	12.9	39.4	33.6	11.8	2.3
4. 地域の自治会や町内会の活動がなくなっている	11.2	36.4	29.8	18.4	4.2
5. 親子関係は親密になる	4.6	14.3	42.7	29.7	8.7
6. 兄弟・姉妹の結束が強まる	5.0	12.5	46.3	27.9	8.3
7. 結婚して子どもを持つ人が増える	4.2	8.3	33.9	42.0	11.6
8. 親戚関係は密接になる	2.3	5.9	39.6	34.4	17.8

非婚化、晩婚化、少子化の傾向をそのまま反映しているようだ。以上のように、高校生たちの30年後の人間関係イメージは、一般の認識とおおむね一致する。ただ、少し気になるのは、「自立意識の強まり」である。今後、日本でも欧米並みに高校生のアルバイトが積極的に認められれば、経済的な自立は確かに進むであろう。しかし、精神面ではどうであろうか。少なくとも学校で生徒と接する限りにおいては、高校生の精神的自立はむしろ後退しているとの印象を筆者は持つ。進路面談などで、「父がこう言ってますから...」「えー、でもお母さんは...」などと、親への依存を示すフレーズをよく聞くようになった。

また、親から教師にまで幅を広げて考える

と、生徒の教師へ依存する姿勢は、年々強まっているように思える。筆者は、長く生徒会の顧問をつとめてきた。10年前の生徒会役員たちは、善くも悪くも自分たちで考え、事をてきばきと進めていた。たまに生ずる生徒たちの暴走に「待った」をかけるのが、顧問の仕事であった。現在、状況はまったく異なる。顧問が細かいところまで手取り足取り教指示してゆかねば、役員たちは動けなくなった。次にすべきことを具体的に指示することが、生徒会顧問の仕事になっている。

生徒たちの予測通り、将来の高校生たちが自立意識を強めてくれればよい。だが、現在の生徒たちをみていると、状況は逆に進んでしまうようにも思える。

4 30年後の男女の社会的関係

表4 - 4には、30年後の男女の関係、特に職業面を中心とした社会的関係について尋ねた結果をまとめてある。

「結婚しない人が増えている」は「とても・ややそう思う」者が7割に上る。現在の傾向が、30年後も続くとして生徒たちは考えている。これが、彼ら自身の結婚への見通しを反映しているとすれば、興味深い数値である。

「女性の能力や才能は正しく評価されている」「女性の社会的地位は高くなっている」「就職する際に男女差別がなくなっている」は肯定者が6～7割になる。生徒たちは女性の地位向上、職業上の男女平等はさらに進むと見通す。

実際、高校内においても、女子生徒の活躍はかなり目立つ。例えば、(共学校で)女性の生徒会長はもう珍しくない。さらに、(筆者が見聞できる範囲では)女性会長の方がたくましく、行動力がある。もっとも、HR長(クラス会長、委員長)は、まだ男子の方が多いようである。これは、指導する教師の側に問題があるとも考えられる。(女子の方が

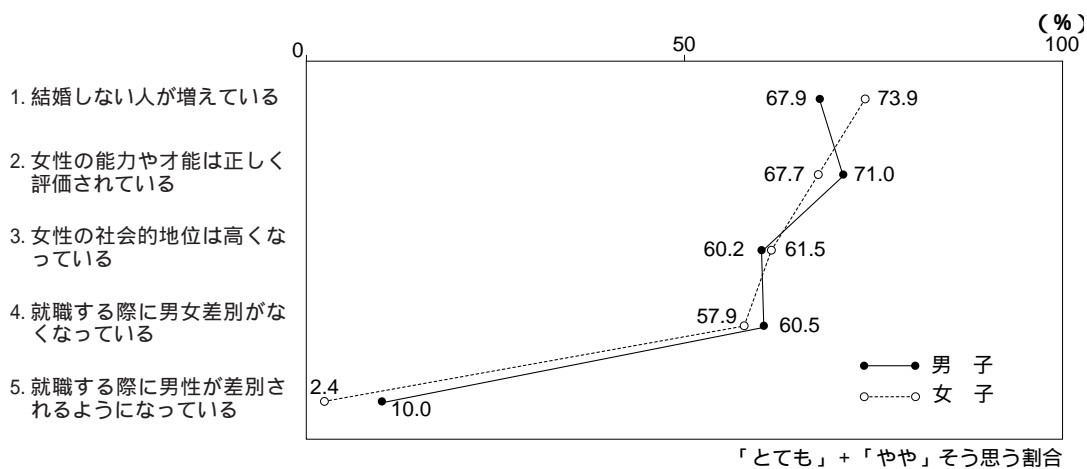
多いクラスでも)担任が「それじゃあ、ルーム長は男子から、副ルーム長は女子ね」といった具合に、最初から枠をはめてしまうことがしばしばだからである。われわれ教師は、少し反省して表4 - 4のデータを見るべきかもしれない。ここでは、生徒の方が意識が進んでいるように思える。

表4 - 4については、当然男女差が気になる。しかし、図4 - 2に表したように、男女間で大きな意識の差はない。強いていえば、「就職する際に男性が差別されるようになっている」で、ごく低い数値同士ながら差が認められる。女子がわずか2.4%なのだが、男子は10.0%が「そう思う」としている。女子は「まさか、そこまでは」と思っている。これに対し、男子の一部は「ひょっとしたらそうなるかも」と心配しているようである。30年後の日本は、自信満々で生き生きと働く女性と、自信を喪失してしょんぼりしている男性の時代になるのかもしれない。そんなことも考えてしまう結果であった。

表 4 - 4 30年後の男女の社会的関係

	(%)				
	とても そう思う	やや そう思う	今と 変わらない	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 結婚しない人が増えている	25.6	45.1	20.9	6.7	1.7
2. 女性の能力や才能は正しく評価されている	18.6	50.9	17.8	10.4	2.3
3. 女性の社会的地位は高くなっている	12.9	48.0	24.3	11.0	3.8
4. 就職する際に男女差別がなくなっている	16.2	43.0	21.2	13.9	5.7
5. 就職する際に男性が差別されるようになっている	2.2	4.0	30.3	31.8	31.7

図 4 - 2 30年後の男女の社会的関係 × 性



第5章

これからの社会への展望

1 30年後の社会

高校生たちが社会の中核になるのは20年から30年先であろう。そこで生徒たちに「30年後の日本」についての見通しを尋ねてみた。「30年」というのは、厳密なものではなく、5年や10年よりもう少し先の社会を考えてほしいという設問である。

30年後の日本社会が現在よりよくなっているのかの結果を表5 - 1に示した。

ここでは、景気予測の手法と同じように、全体から「今と変わらない」を除いて、「よくなっている」と「悪くなっている」との差に着目しよう。

	よくなっている	-	悪くなっている	=	差
自然環境	8.3%	-	81.9%	=	- 73.6%
人々の連帯感	13.1	-	45.5	=	- 32.4
治安状況	19.3	-	48.5	=	- 29.2
欧米との関係	34.8	-	13.3	=	21.5
アジアとの関係	43.4	-	14.0	=	29.4
社会全体の経済	47.9	-	23.0	=	24.9
生活水準	49.2	-	15.6	=	33.6

このようにみえてくると、高校生たちの描く未来の社会像は、「生活水準はよくなると思う。しかし自然環境の破壊が進み、人々の連帯感は失われる」となる。特に、自然環境の悪化は81.9%と、8割を超える。生活が豊かになるかもしれないが、環境が悪化するだろうという見方である。

表5 - 1 30年後の日本社会

(%)

	とてもよくなっている	ややよくなっている	小計	今と変わらない	やや悪くなっている	とても悪くなっている	小計
1. 自然環境	1.9	6.4	8.3	9.8	43.7	38.2	81.9
2. 人々の連帯感	2.5	10.6	13.1	41.4	33.9	11.6	45.5
3. 治安状況	4.5	14.8	19.3	32.2	37.2	11.3	48.5
4. 欧米諸国との関係	6.5	28.3	34.8	51.9	10.1	3.2	13.3
5. アジア諸国との関係	8.0	35.4	43.4	42.6	10.4	3.6	14.0
6. 社会全体の経済状態	4.2	43.7	47.9	29.1	16.9	6.1	23.0
7. 一人一人の生活水準	8.4	40.8	49.2	35.2	12.4	3.2	15.6

2 これからの社会の政治

それでは、社会の中でも政治や経済の見通しはどうなっているのか。表5 - 2に目を通してほしい。ここでも、「今と変わらない」を除いて、「そう思う」と「そう思わない」との差に着目してみよう。

	そう思う	-	そう思わない	=	差
重要法案は国民投票	56.1%	-	18.3%	=	37.8%
転職が広まる	52.5	-	14.8	=	37.7
アジアも地域統合	48.7	-	24.8	=	23.9
国際的な地位が高まる	40.6	-	23.2	=	17.4
地方自治の広領域化	39.1	-	19.4	=	19.7

国連が世界平和に貢献	35.4	-	31.1	=	4.3
外国企業への就職	35.2	-	30.6	=	4.6
火星に人が移住	32.5	-	48.0	=	-15.5
アフリカの飢餓が解消	23.8	-	52.9	=	-29.1
あの世との交信が可能	8.8	-	82.5	=	-73.7

こうした数値が示すように、高校生はこれからの社会では、「転職傾向が広まり、重要な法案は国民投票をするようになる。しかし、あの世との交信などはありません」と考えている。

表5 - 2 30年後の経済・政治

	(%)						
	とても そう思う	やや そう思う	小 計	今と 変わらない	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない	小 計
1. 重要な法案については国民投票が行われている	16.9	39.2	56.1	25.6	11.4	6.9	18.3
2. 転職がごく当たり前の社会になっている	13.2	39.3	52.5	32.7	13.1	1.7	14.8
3. ヨーロッパのEUのような地域統合がアジアでも行われ、日本も参加している	9.6	39.1	48.7	26.5	18.5	6.3	24.8
4. 日本の国際的地位は高まっている	9.2	31.4	40.6	36.2	17.9	5.3	23.2
5. 地方自治はもっと広域なものになっている	8.9	30.2	39.1	41.5	13.8	5.6	19.4
6. 国連が発展し、世界平和が実現している	11.1	24.3	35.4	33.5	21.6	9.5	31.1
7. 学業を終えると、外国の企業に就職するのが一般化している	6.1	29.1	35.2	34.2	23.2	7.4	30.6
8. 火星に人類の移住が始まっている	9.9	22.6	32.5	19.5	23.7	24.3	48.0
9. アフリカなどの飢餓がなくなっている	5.4	18.4	23.8	23.3	31.4	21.5	52.9
10. あの世との交信技術が開発されている	4.9	3.9	8.8	8.7	11.4	71.1	82.5

3 自然環境の変化

情報化が進むかもしれない。しかし、人間関係の面では個々の孤立が進むようになる。メカニク的な街が出現しそうというのが、高校生の抱く未来像のように思われる。それでは、自然環境についての予測はどうなっているのか。

表5 - 3に調査結果を示した。これまでと同じように、全体から「今と変わらない」を除いて、「そう思う」と「そう思わない」との差を求めてみた。

	そう思う	-	そう思わない	=	差
リサイクルが進む	81.6%	-	5.1%	=	76.5%
宅地化が進む	79.3	-	4.9	=	74.4
電気自動車が普及 トンボやカエルが 身近から消える	86.6	-	6.9	=	79.7
栄養剤の利用増加	70.7	-	10.1	=	60.6
発電は原子力で	59.8	-	14.4	=	45.4
清流が復活	54.1	-	23.2	=	30.9
レトルト食品中心の生活	51.1	-	13.7	=	37.4
他の天体の資源活用	49.8	-	18.5	=	31.3
紫外線を避けて中に	51.0	-	24.9	=	26.1
	46.1	-	26.0	=	20.1

表5 - 3 自然環境の変化

	(%)						
	とても そう思う	やや そう思う	小 計	今と 変わらない	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない	小 計
1. あらゆる製品のリサイクルが行われている	33.7	47.9	81.6	13.3	4.0	1.1	5.1
2. 丘陵地や空き地の宅地化が進んでいる	33.7	45.6	79.3	15.8	3.6	1.3	4.9
3. ガソリン車に代わって電気自動車が一般化している	34.1	52.5	86.6	6.5	5.5	1.4	6.9
4. トンボやカエルは身近には見られなくなっている	25.3	45.4	70.7	19.2	7.9	2.2	10.1
5. 栄養剤などの薬を飲む習慣がついている	18.8	41.0	59.8	25.8	9.8	4.6	14.4
6. 発電はほとんど原子力でやっている	16.7	37.4	54.1	22.7	17.6	5.6	23.2
7. 計画的に清流の復活が増やされている	14.1	37.0	51.1	35.2	10.0	3.7	13.7
8. レトルト食品中心の食生活をしている	16.4	33.4	49.8	31.7	14.1	4.4	18.5
9. 他の天体の資源を活用している	15.2	35.8	51.0	24.1	18.2	6.7	24.9
10. 紫外線を避けて戸外でのスポーツはやらない	7.4	38.7	46.1	27.9	17.6	8.4	26.0

この結果に明るさが感じられる。「リサイクルが進む」や「電気自動車が普及」などの技術面は間違いなく進歩するだろう。そうした中で、「トンボやカエルが身近から消え、宅地化が進むなどが生じるが、清流も復活する」ともみている。正直に言って、ここ2、

30年来の変化をみていると、将来にそれだけの期待を寄せにくい気持ちがする。しかし、川がきれいになってきたのは確かだし、自然環境についての関心が高まったのも事実であろう。そうした動向が今後も持続することを期待したいと思う。

4 将来に残したいもの

最後に、高校生が将来に残したいものと残したくないものを探った結果を示した。表5-4をこれまでと同じように、「どちらでもよい」を除いて、「残したい」と「残したくない」とに分けて要約してみよう。

残したい - 残したくない = 差

憲法第9条の理念	81.1%	-	3.2%	=	77.9%
中高校の修学旅行	83.2	-	2.1	=	81.1
ゴミの分別回収	82.9	-	3.0	=	79.9
お米中心の食生活	75.8	-	2.2	=	73.6
飲酒・喫煙の未成年禁止	45.4	-	19.1	=	26.3
敬語	62.3	-	10.4	=	51.9

年賀状や暑中見舞い	61.8	-	11.1	=	50.7
町内の盆踊りや祭り	61.9	-	6.7	=	55.2
中高校の制服	44.7	-	10.8	=	33.9
結婚式のしきたり	28.7	-	25.0	=	3.7
お葬式のやりかた	27.7	-	21.7	=	6.0
男女を区別して呼ぶ	19.6	-	11.0	=	8.6

ほとんどの項目で、「残したい」の割合が多い。「中学や高校の修学旅行」を残したいが83.2%、「年賀状や暑中見舞い状のやりとり」が61.8%をみると、高校生は現状を肯定し、否定的な態度は少ないようにみえる。

表5 - 4 残したいものと残したくないもの

(%)

	とても残したい	まあ残したい	小 計	どちらでもよい	あまり残したくない	まったく残したくない	小 計
1. 憲法第9条で示されている平和の理念	63.2	17.9	81.1	15.7	1.2	2.0	3.2
2. 中学や高校の修学旅行	60.3	22.9	83.2	14.7	0.6	1.5	2.1
3. 不燃ゴミ・可燃ゴミやビン・カンの分別回収	57.1	25.8	82.9	14.1	1.7	1.3	3.0
4. お米中心の食生活	48.7	27.1	75.8	22.0	1.3	0.9	2.2
5. 飲酒・喫煙は20歳を過ぎてからという法律	24.6	20.8	45.4	35.5	10.3	8.8	19.1
6. 敬語	31.3	31.0	62.3	27.3	5.1	5.3	10.4
7. 年賀状や暑中見舞い状のやりとり	32.0	29.8	61.8	27.1	5.9	5.2	11.1
8. 町内の盆踊りや祭り	30.9	31.0	61.9	31.4	3.2	3.5	6.7
9. 中学や高校の制服	18.3	26.4	44.7	44.5	5.0	5.8	10.8
10. 結婚式に関連したしきたり	12.5	16.2	28.7	46.3	15.2	9.8	25.0
11. 現在のお葬式のやりかた	10.9	16.8	27.7	50.6	12.3	9.4	21.7
12. 「くん」「さん」で男女を区別する呼び方	7.1	12.5	19.6	69.4	5.7	5.3	11.0

まとめに代えて

電子メディア社会 の中に生きる

電子メディア社会の到来

高校生に未来社会を予測させたのが本調査だったが、結果の中で印象的だったのは、高校生が電子メディア社会の到来に実感を抱いている事実だった。

① 4～5年先、パソコンを使って情報を得る(73.1%)(図1-1)

② 4～5年先、パソコンを使って仕事を(68.9%)(図1-1)

③ 30年後、自宅でインターネットで勉強する(80.1%)(表4-1)

④ 30年後、インターネットによる人間関係が進む(71.8%)(表4-3)

情報化が進むだろうという見通しである。それと同時に、

⑤ 外国企業への就職増加(71.0%)(表1-12)

⑥ 就職には学歴より実力が大事(66.7%)(表1-12)

⑦ 結婚しない人が増える(70.7%)(表4-4)のような変化が予想されると感じている。

⑧ 30年後、生活水準がよくなる(49.2%)(表5-1)

⑨ 30年後、自然環境は悪化する(81.9%)(表5-1)

生活は豊かになるかもしれないが、自然環境が悪化し、メカニックで人間性に欠けるの

が未来社会なのではないかと、高校生は感じている。

せめて暖かい家庭を作りたい

それだけに、そうした環境の中で、高校生がどう生きようとしているかが気にかかる。

⑩ 10年後、幸せな家庭生活を送っている(79.0%)(表2-1)

⑪ 夫と妻は互いに頼り合って暮らしたい(60.0%)(表2-3)

⑫ 子育ての時期は、女性(妻)は家庭に(45.0%)(表2-5)

⑬ オムツのとりかえは夫と妻で(61.5%)(表2-11)

夫婦が頼り合って、性差を越えて、暖かい家庭を作りたいと高校生は考えている。メカニックな感じの社会が予想されるだけに、家庭的な暖かさを大事にしたいという。高校生のそういう気持ちは十分に理解できるが、マイホームが心のよりどころという生き方である。

高校生は「せめてマイホームだけは心が暖かく」を願っているが、マイホームに限らず人間的に暖かい社会、あるいは人間性を大事にする社会の実現が、これからの日本にとっての課題のように思われてくる。

アンケートのお願い

このアンケートは、高校生の皆さんが「将来の生き方」についてどのように考えているかをお聞きするために作成したものです。

あなたの大切な時間をいただいて申しわけありませんが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(お名前は入りませんので、ありのままをお答えください)

高校教育研究会

東京成徳短期大学教授 深谷昌志

上智大学教授 武内清

明治学院大学教授 望月重信

((回答のしかた)) 特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけをつけてください。

④ あなたは将来、次の仕事をやってみたいですか。

- | | とても
やってみたい | まあ
やってみたい | あまり
やってみたい
くない | ぜんぜん
やってみたい
くない |
|------------------------|---------------|--------------|----------------------|-----------------------|
| 1. 環境問題に関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 海外での仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. マスコミに関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 教育に関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 医療・福祉に関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 最先端技術に関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 動物や植物に関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 宇宙に関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 芸術やスポーツに関する仕事 | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑤ あなたが将来仕事につく頃（4～5年先）の社会は、現在と比べてどのようになっていると思いますか。

- | | かなり
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|---|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1. 大学に入るのはやさしくなり、卒業するのが
難しくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 学校を卒業したら望み通りの仕事につける | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 国際化が進んで外国の企業に就職する人が多
くなる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 就職は学歴やコネではなく、本人の実力で決
まる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 仕事をする際に男女で差別されることがなく
なっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 企業規模より仕事内容が重視されている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 仕事より趣味などを優先した生活ができる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 仕事を持ちながらボランティア活動をする人
が増える | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

Ⅱ．あなたたちの多くの人が仕事をもち、やがて結婚する頃（10数年先）のことについておたずねします。

⑥ あなた自身は、どのような生活が送れるようになってきていると思いますか。

- | | | きつと
できている | | たぶん
できている | | たぶん
できていない | | ぜんぜん
できていない |
|-----------------------------|---|--------------|---|--------------|---|---------------|---|----------------|
| 1. 自分に合った仕事をしている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 2. 親から自立して暮らしている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 3. 好きな相手と結婚している | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 4. 幸せな家庭生活を送っている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 5. 子どもに恵まれている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 6. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 7. 地域の人たちと親しくつきあっている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |
| 8. 気の合った多くの友人を持っている | 1 | ———— | 2 | ———— | 3 | ———— | 4 | |

⑦ あなたは将来結婚するとしたら、どのような夫婦になりたいですか。

1つ をつけてください。

1. どちらかというと夫がしっかりリードする夫婦
2. お互いに頼り合っている夫婦
3. どちらかというと妻がしっかりリードする夫婦
4. それぞれが独立した生き方を尊重している夫婦

⑧ あなたは将来結婚するとしたら、妻はどのような生活をしたらよいと思いますか。

1つ をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 結婚したら家庭に入る | 3. 子育てにめどがつかいたらまた働く |
| 2. 子どもが生まれるまで働く | 4. ずっと仕事を続ける |

⑨ あなたは将来結婚するとしたら、夫婦の姓をどう考えますか。

1つ をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 男性の姓を名のる | 3. 夫婦別姓 |
| 2. 女性の姓を名のる | 4. 別にどちらの姓を名のってもかまわない |

⑩ あなたは将来結婚するとしたら、夫婦で家事や育児の分担をどのようにしたらよいと考えますか。

- | | 夫が
ほとんどする | 夫が
半分以上する | 夫と妻が
半々 | 妻が
半分以上する | 妻が
ほとんどする |
|----------------------|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|
| 1. 朝食作り | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 夕食後の片づけ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 部屋の掃除 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. ゴミ出し | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. オムツのとりかえ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 子どもをお風呂に入れる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 子どもを寝かしつける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 子どものしつけ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑪ あなたは将来結婚するとしたら、子どもは何人がよいと思いますか。

1つ をつけてください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 1人もいない

Ⅲ. 今から30年あまりのち、あなたたちが現在のお父さん、お母さんの年齢に近くなる頃のことについておたずねします。

⑫ あなた自身は、どのような生活が送れるようになっていと思いますか。

- | | きっと
できている | たぶん
できている | たぶん
できていない | ぜんぜん
できていない |
|-----------------------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 自分に合った仕事をしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 親の面倒をみている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 幸せな家庭生活を送っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 子育てをじょうずにやっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 地域の人たちと親しくつきあっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 気の合った多くの友人を持っている | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

- ⑬ 高齢になったお父さん、お母さんに介護が必要になったとき、あなただったらどうしますか。
1つ をつけてください。

1. 自分が一緒に住んで面倒をみる
2. 他のきょうだいに面倒をみてもらう
3. 自分たちの近くに親を呼び寄せ、自分やきょうだいで面倒をみる
4. 親たちだけで暮らし、地域の福祉サービスを利用する
5. 特別養護老人ホームなどの施設に入ってもらふ

Ⅳ. 今から50年あまりのち、あなたたちが高齢者になる頃のことについて
おたずねします。

- ⑭ あなた自身は、どのような生活が送れるようになっていいると思いますか。

- | | きつと
できている | たぶん
できている | たぶん
できていない | ぜんぜん
できていない |
|-----------------------------|--------------|--------------|---------------|----------------|
| 1. 自分に合った仕事を続けている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 子どもに面倒をみてもらっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 幸せな家庭生活を送っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. よい孫に恵まれている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 趣味の面で満ち足りた生活を送っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 地域の人たちと親しくつきあっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 気の合った多くの友人を持っている | 1 | 2 | 3 | 4 |

- ⑮ あなたが高齢になって介護が必要になったとき、あなただったらどうしたいと思いますか。
1つ をつけてください。

1. できる限り家族の手で面倒をみてもらいたい
2. ホームヘルパーを頼み、家族の負担を減らしてもらいたい
3. 日中は地域のデイサービスセンターで過ごしたい
4. 特別養護老人ホームなどの施設に入り、家族の世話にはなりたくない

16 あなたが老後を迎える年齢になった頃、日本はどのような社会になっていると思いますか。

- | | かなり
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|--|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1. 会社などの定年制はなくなり、働く意志があればいつまでも働ける | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 50歳代前半に定年があるが、以後引き続き働くかどうかは自由に選択できる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 自分の意志で尊厳死が認められる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 多くの病気が克服され、平均寿命が100歳を超える | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 老後の生活を十分保障する年金制度ができている | 1 | 2 | 3 | 4 |

V. 今から30年あまりのち、社会がどのようなになっているか、現在と比較しながら予測してください。

17 あなたは、あなたの子どもの世代が高校生になった頃、次のようなことが実現されていると思いますか。

- | | かなり
そう思う | まあ
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|----------------------------------|-------------|------------|---------------|----------------|
| 1. ゆったりとした高校生活が送れる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 自宅でインターネットを使って勉強する | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 教室から黒板がなくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 教材や連絡のためのプリントは使わなくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 部活動は他校の生徒と一緒に校外でやる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 週休3日制になっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. どの学校からも制服がなくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. いじめは少なくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. LHRの時間が時間割からなくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 修学旅行はなくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. 志望する大学には誰でも入れるようになる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 高校は義務教育になっている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13. 高校の授業科目は自由に選択できる | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

18 30年後に、「一流大学を卒業した」ということは、社会の中でどのように評価されるようになると思いますか。1つ をつけてください。

1. 今よりぐんと値打ちが上がる
2. 今よりやや値打ちが上がる
3. 今とそう変わらない
4. 今よりやや値打ちが下がる
5. 今よりぐんと値打ちが下がる

19 30年後の人間関係は、今と比べてどうなっていると思いますか。

- | | とても
そう思う | やや
そう思う | 今と
変わらない | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|--|-------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. 親子関係は親密になる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 兄弟・姉妹の結束が強まる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 親戚関係は密接になる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 住んでいる地域よりインターネットなど
による人間関係が進む | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 地域の自治会や町内会の活動がなくなっ
ている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 会社などの人間関係より趣味などを通し
た人間関係が重視される | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 結婚して子どもを持つ人が増える | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 高校生は親からの自立意識が強くなる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

20 30年後の男女関係は、今と比べてどうなっていると思いますか。

- | | とても
そう思う | やや
そう思う | 今と
変わらない | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|-------------------------------------|-------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. 就職する際に男女差別がなくなっ
ている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 女性の社会的地位は高くなっている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 女性の能力や才能は正しく評価され
ている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 就職する際に男性が差別されるよう
になっている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 結婚しない人が増えている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

㉑ 30年後の自然環境は、今と比べてどうなっていると思いますか。

- | | とても
そう思う | やや
そう思う | 今と
変わらない | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|--------------------------------------|-------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. 紫外線を避けて戸外でのスポーツは
やらない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. ガソリン車に代わって電気自動車が
一般化している | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 発電はほとんど原子力で行っている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 計画的に清流の復活が増やされている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. トンボやカエルは身近には見られなく
なっている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 丘陵地や空き地の宅地化が進んでいる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. あらゆる製品のリサイクルが行われて
いる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 他の天体の資源を活用している | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. レトルト食品中心の食生活をしている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 栄養剤などの薬を飲む習慣がついている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

㉒ 30年後の日本の社会は、今と比べてどうなっていると思いますか。

- | | とてもよく
なっている | ややよく
なっている | 今と
変わらない | やや悪く
なっている | とても悪く
なっている |
|--------------------|----------------|---------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. 社会全体の経済状態 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 一人一人の生活水準 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 治安状況 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 自然環境 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 欧米諸国との関係 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. アジア諸国との関係 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 人々の連帯感 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

㉓ あなたは、次のことを30年後の社会にも残しておきたいと考えますか。

	とても 残したい	まあ 残したい	どちらでも よい	あまり 残したくない	まったく 残したくない
1. 中学や高校の制服	1	2	3	4	5
2. 中学や高校の修学旅行	1	2	3	4	5
3. 「くん」「さん」で男女を区別する 呼び方	1	2	3	4	5
4. 飲酒・喫煙は20歳を過ぎてからという 法律	1	2	3	4	5
5. 町内の盆踊りや祭り	1	2	3	4	5
6. 年賀状や暑中見舞い状のやりとり	1	2	3	4	5
7. お米中心の食生活	1	2	3	4	5
8. 敬語	1	2	3	4	5
9. 不燃ゴミ・可燃ゴミやビン・カンの 分別回収	1	2	3	4	5
10. 憲法第9条で示されている平和の理念	1	2	3	4	5
11. 結婚式に関連したしきたり	1	2	3	4	5
12. 現在のお葬式のやりかた	1	2	3	4	5

㉔ 30年後の政治・経済は、今と比べてどうなっていると思いますか。

	とても そう思う	やや そう思う	今と 変わらない	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. 日本の国際的地位は高まっている	1	2	3	4	5
2. ヨーロッパのEUのような地域統合が アジアでも行われ、日本も参加して いる	1	2	3	4	5
3. 重要な法案については国民投票が 行われている	1	2	3	4	5
4. 地方自治はもっと広域なものになって いる	1	2	3	4	5
5. 学業を終えると、外国の企業に就職する のが一般化している	1	2	3	4	5
6. 転職がごく当たり前の社会になって いる	1	2	3	4	5

- | | とても
そう思う | やや
そう思う | 今と
変わらない | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|---------------------------------|-------------|------------|-------------|---------------|----------------|
| 7. 国連が発展し、世界平和が実現して
いる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 火星に人類の移住が始まっている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. アフリカなどの飢餓がなくなっている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. あの世との交信技術が開発されている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

- ㉔ (1) 30年後、こんな社会になるといいなと思うことを自由に書いてください。

- (2) 30年後くらいまでにはなりたい自分の夢があったら自由に書いてください。

VI. ふたたび、あなた自身のことについておたずねします。

- ㉔ あなたの今の成績は、クラスの中でどの辺に位置していますか。1つ をつけてください。

上	中の上	中	中の下	下
1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

㉗ あなたは、高校を出たらどのような進路を考えていますか。
1つ をつけてください。

1. 難しい大学への進学
2. まあまあの大学への進学
3. 短大への進学
4. 専修・専門学校への進学
5. 進学せずに就職
6. まだ決めていない
7. その他

㉘ あなたは、理系・文系どちらのタイプだと思いますか。

ぜったい 理系	まあ 理系	どちらとも いえない	まあ 文系	ぜったい 文系	その他
1	2	3	4	5	6

㉙ あなたは高校生として、どのようなタイプだと思いますか。

	とても そう	まあ そう	やや 違う	まったく 違う
1. 行動力がある	1	2	3	4
2. おしゃれな方だ	1	2	3	4
3. 異性から人気がある	1	2	3	4
4. 友だちが多い	1	2	3	4
5. 努力型だ	1	2	3	4
6. 心がやさしい	1	2	3	4
7. 友だちから信頼されている	1	2	3	4
8. がんばれば、たいていのことはできる	1	2	3	4
9. 先のことを心配するよりは今を楽しみたい	1	2	3	4
10. 友だちを引っ張る力がある	1	2	3	4
11. 先生から信頼されている	1	2	3	4
12. スポーツが得意だ	1	2	3	4

～これで終わりです。長い間ありがとうございました。～

資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外は%

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
サンプル数		1,518	778	740	578	577	363		
①	学年	1. 1年	578	281	297				
		2. 2年	577	318	259				
		3. 3年	363	179	184				
	性別	1. 男子	778						
2. 女子		740							
②	部活動に参加	1. 運動部で熱心に活動している	38.0	46.5	28.9	42.6	39.4	27.9	
		2. 運動部だが熱心に活動していない	10.8	10.0	11.7	12.5	13.5	3.9	
		3. 文化部で熱心に活動している	9.8	5.2	14.7	10.7	9.5	8.9	
		4. 文化部だが熱心に活動していない	5.9	4.5	7.3	6.8	5.8	4.7	
		5. 現在はやめてしまった	19.9	19.5	20.4	10.2	18.0	38.7	
		6. 入ったことがない	15.6	14.3	17.0	17.2	13.8	15.9	
③	将来(4~5年先)の可能性	外国で働く	1. きっとできている	22.2	24.6	19.8	18.5	24.1	25.1
			2. たぶんできている	43.7	45.4	41.7	47.7	45.0	35.1
			3. たぶんできていない	29.1	24.5	34.0	29.5	26.6	32.6
			4. ぜんぜんできていない	5.0	5.5	4.5	4.3	4.3	7.2
		観光客として	1. きっとできている	9.0	10.3	7.6	6.7	9.4	11.9
			2. たぶんできている	25.1	20.6	29.9	24.0	25.5	26.4
			3. たぶんできていない	49.4	50.0	48.7	51.0	49.5	46.7
			4. ぜんぜんできていない	16.5	19.1	13.8	18.3	15.6	15.0
		情報パソコンで	1. きっとできている	32.9	37.5	28.0	30.3	33.5	36.2
			2. たぶんできている	40.2	35.5	45.3	42.5	40.8	35.8
			3. たぶんできていない	19.2	17.2	21.3	20.1	19.6	16.9
			4. ぜんぜんできていない	7.7	9.8	5.4	7.1	6.1	11.1
	パソコンをする	1. きっとできている	30.0	34.9	24.9	26.8	31.1	33.4	
		2. たぶんできている	38.9	37.4	40.5	41.3	38.7	35.4	
		3. たぶんできていない	22.1	17.2	27.2	23.2	22.6	19.5	
		4. ぜんぜんできていない	9.0	10.5	7.4	8.7	7.6	11.7	
	外国の会社に入る	1. きっとできている	4.4	5.5	3.1	3.1	5.7	4.2	
		2. たぶんできている	9.3	9.5	9.1	10.0	8.3	9.7	
		3. たぶんできていない	48.0	47.2	49.0	49.7	49.1	43.9	
		4. ぜんぜんできていない	38.3	37.8	38.8	37.2	36.9	42.2	
	インターネットで通信	1. きっとできている	21.8	23.3	20.3	21.3	21.0	24.1	
		2. たぶんできている	36.3	35.2	37.4	39.0	36.9	30.8	
		3. たぶんできていない	28.8	25.3	32.6	26.2	31.5	28.8	
		4. ぜんぜんできていない	13.1	16.2	9.7	13.5	10.6	16.3	
外国の大学院に留学	1. きっとできている	3.8	4.1	3.5	3.5	4.0	4.2		
	2. たぶんできている	7.5	7.5	7.4	8.1	8.1	5.3		
	3. たぶんできていない	37.5	37.5	37.6	38.4	36.9	37.1		
	4. ぜんぜんできていない	51.2	50.9	51.5	50.0	51.0	53.4		
④	将来やってみたい仕事に関する問題	1. とてもやってみたい	10.0	13.3	6.5	5.6	8.3	19.6	
		2. まあやってみたい	35.9	31.4	40.6	33.6	36.3	38.8	
		3. あまりやってみたくない	37.7	35.7	39.9	43.8	38.4	27.3	
		4. ぜんぜんやってみたくない	16.4	19.6	13.0	17.0	17.0	14.3	
	海外での仕事	1. とてもやってみたい	23.3	20.4	26.2	21.6	21.8	28.1	
		2. まあやってみたい	36.4	31.9	41.4	36.6	38.5	33.3	
		3. あまりやってみたくない	26.1	29.2	22.8	26.1	26.7	25.1	
		4. ぜんぜんやってみたくない	14.2	18.5	9.6	15.7	13.0	13.5	
	マスコミに関する仕事	1. とてもやってみたい	13.5	12.8	14.2	14.4	10.2	17.1	
		2. まあやってみたい	26.5	23.5	29.7	29.6	22.6	27.8	
		3. あまりやってみたくない	32.5	32.6	32.3	32.4	34.9	28.9	
		4. ぜんぜんやってみたくない	27.5	31.1	23.8	23.6	32.3	26.2	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
4	将来やってみたい仕事	る教育に関する仕事	1. とてもやってみたい	16.9	14.1	19.9	17.0	13.3	22.6
			2. まあやってみたい	31.3	30.1	32.6	32.0	34.2	25.6
			3. あまりやってみたくない	29.1	29.3	28.9	30.8	29.1	26.5
			4. ぜんぜんやってみたくない	22.7	26.5	18.6	20.2	23.4	25.3
		る医療・福祉に関する仕事	1. とてもやってみたい	24.4	14.8	34.5	24.9	24.1	24.0
			2. まあやってみたい	28.7	25.7	31.9	31.9	26.7	27.0
			3. あまりやってみたくない	28.8	34.3	23.1	29.2	28.9	28.1
			4. ぜんぜんやってみたくない	18.1	25.2	10.5	14.0	20.3	20.9
		る最先端技術に関する仕事	1. とてもやってみたい	24.5	35.5	12.9	21.2	27.0	25.9
			2. まあやってみたい	32.8	36.6	28.8	33.3	35.2	27.8
			3. あまりやってみたくない	27.2	18.5	36.3	32.3	21.6	28.1
			4. ぜんぜんやってみたくない	15.5	9.4	22.0	13.2	16.2	18.2
		る動物や植物に関する仕事	1. とてもやってみたい	16.8	15.2	18.5	13.5	14.7	25.4
			2. まあやってみたい	33.4	30.8	36.0	37.9	32.6	27.3
			3. あまりやってみたくない	34.3	35.1	33.6	34.6	35.0	32.9
			4. ぜんぜんやってみたくない	15.5	18.9	11.9	14.0	17.7	14.4
る宇宙に関する仕事	1. とてもやってみたい	16.9	21.1	12.5	13.9	19.1	18.2		
	2. まあやってみたい	33.1	36.7	29.4	35.1	31.8	31.9		
	3. あまりやってみたくない	31.4	26.5	36.6	34.3	28.6	31.4		
	4. ぜんぜんやってみたくない	18.6	15.7	21.5	16.7	20.5	18.5		
る「芸術やスポーツ」に関する仕事	1. とてもやってみたい	26.0	27.1	24.9	24.6	23.4	32.5		
	2. まあやってみたい	35.3	33.7	36.9	38.3	36.1	28.9		
	3. あまりやってみたくない	24.4	23.3	25.6	25.3	24.0	23.7		
	4. ぜんぜんやってみたくない	14.3	15.9	12.6	11.8	16.5	14.9		
5	将来(4~5年先)の社会情勢	て難大いしく卒業する業種が	1. かなりそう思う	17.7	18.6	16.8	15.4	17.3	22.0
			2. まあそう思う	42.4	38.2	46.7	41.9	44.5	39.7
			3. あまりそう思わない	32.8	32.3	33.4	37.0	30.7	29.5
			4. ぜんぜんそう思わない	7.1	10.9	3.1	5.7	7.5	8.8
		る望み通りの仕事につける	1. かなりそう思う	2.1	2.4	1.8	1.7	2.8	1.7
			2. まあそう思う	9.9	12.2	7.4	10.2	9.9	9.4
			3. あまりそう思わない	51.0	48.4	53.9	51.8	54.4	44.5
			4. ぜんぜんそう思わない	37.0	37.0	36.9	36.3	32.9	44.4
		が就外多職国企業なる業に人	1. かなりそう思う	19.1	20.1	18.0	17.6	21.9	17.1
			2. まあそう思う	51.9	48.0	56.1	53.5	50.9	50.9
			3. あまりそう思わない	25.3	27.0	23.5	26.3	23.5	26.5
			4. ぜんぜんそう思わない	3.7	4.9	2.4	2.6	3.7	5.5
		実就力職は本人の力で決まる	1. かなりそう思う	29.5	31.4	27.6	33.2	26.5	28.4
			2. まあそう思う	37.2	36.8	37.4	37.2	39.7	33.0
			3. あまりそう思わない	25.7	23.3	28.2	23.2	26.7	28.1
			4. ぜんぜんそう思わない	7.6	8.5	6.8	6.4	7.1	10.5
別仕事で男女差がなくなる	1. かなりそう思う	18.4	21.0	15.7	23.4	15.9	14.3		
	2. まあそう思う	40.2	38.2	42.4	40.1	41.1	39.2		
	3. あまりそう思わない	33.9	32.1	35.7	29.6	36.2	36.9		
	4. ぜんぜんそう思わない	7.5	8.7	6.2	6.9	6.8	9.6		
事企業規模より重視	1. かなりそう思う	18.9	19.5	18.2	16.9	18.3	22.9		
	2. まあそう思う	51.9	48.9	55.1	57.5	50.2	45.9		
	3. あまりそう思わない	25.8	26.4	25.1	23.0	27.7	27.1		
	4. ぜんぜんそう思わない	3.4	5.2	1.6	2.6	3.8	4.1		
優先した生活	1. かなりそう思う	7.2	9.8	4.5	7.1	6.9	7.7		
	2. まあそう思う	21.9	22.0	21.8	22.0	21.2	22.9		
	3. あまりそう思わない	54.5	50.2	59.0	56.2	54.4	52.0		
	4. ぜんぜんそう思わない	16.4	18.0	14.7	14.7	17.5	17.4		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
5	将来4～5年の社会情勢	仕事とボランティア活動をしたい	1. かなりそう思う	8.3	7.5	9.2	6.1	7.8	12.7
		2. まあそう思う	33.1	29.5	36.9	36.2	31.2	31.2	
		3. あまりそう思わない	44.0	44.6	43.4	43.7	45.6	42.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	14.6	18.4	10.5	14.0	15.4	14.1	
6	10年後の生活	自分と合っている仕事	1. きっとできている	29.7	27.0	32.6	29.3	30.7	28.9
			2. たぶんでできている	55.1	52.9	57.4	57.4	54.0	53.2
			3. たぶんでできていない	13.7	17.9	9.2	12.3	13.9	15.4
			4. ぜんぜんできていない	1.5	2.2	0.8	1.0	1.4	2.5
	親から自立し暮らす	1. きっとできている	60.0	65.0	54.7	57.4	59.6	64.4	
		2. たぶんでできている	35.7	31.7	39.9	37.7	36.0	32.0	
		3. たぶんでできていない	4.2	3.2	5.3	4.7	4.2	3.6	
		4. ぜんぜんできていない	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	
	好きな相手と結婚	1. きっとできている	36.4	33.9	39.1	35.9	35.2	39.2	
		2. たぶんでできている	37.4	36.8	37.9	38.1	38.7	34.0	
		3. たぶんでできていない	20.6	22.2	18.9	20.4	20.5	21.0	
		4. ぜんぜんできていない	5.6	7.1	4.1	5.6	5.6	5.8	
	幸せな家庭を送る	1. きっとできている	36.9	34.1	39.9	37.2	35.2	39.1	
		2. たぶんでできている	42.1	40.8	43.3	43.1	42.7	39.4	
		3. たぶんでできていない	16.2	18.5	13.8	15.7	16.5	16.5	
		4. ぜんぜんできていない	4.8	6.6	3.0	4.0	5.6	5.0	
	子どもに恵まれる	1. きっとできている	28.6	25.2	32.2	28.0	28.6	29.5	
		2. たぶんでできている	40.8	42.1	39.2	44.0	38.9	38.5	
		3. たぶんでできていない	21.9	23.5	20.3	19.7	23.6	22.9	
		4. ぜんぜんできていない	8.7	9.2	8.3	8.3	8.9	9.1	
	趣味を満ち足りた生活を送る	1. きっとできている	32.4	34.7	29.9	30.9	31.3	36.5	
		2. たぶんでできている	45.9	43.9	48.0	46.5	46.4	43.8	
		3. たぶんでできていない	20.2	19.2	21.3	21.7	20.2	18.0	
		4. ぜんぜんできていない	1.5	2.2	0.8	0.9	2.1	1.7	
	地域と親しくつきあう	1. きっとできている	22.4	21.1	23.7	21.2	21.8	25.1	
		2. たぶんでできている	51.5	48.5	54.7	53.7	48.9	52.3	
		3. たぶんでできていない	21.4	23.7	19.0	21.6	23.9	17.1	
		4. ぜんぜんできていない	4.7	6.7	2.6	3.5	5.4	5.5	
気の合う友人を持つ	1. きっとできている	41.2	37.6	45.0	41.8	38.0	45.2		
	2. たぶんでできている	47.2	47.6	46.9	47.8	48.8	44.1		
	3. たぶんでできていない	9.9	12.1	7.6	9.0	11.5	8.8		
	4. ぜんぜんできていない	1.7	2.7	0.5	1.4	1.7	1.9		
7	夫どいかのようになるか	1. 夫がしっかりリードする夫婦	15.3	11.0	19.8	16.7	13.2	16.3	
		2. お互いに頼り合っている夫婦	60.0	68.1	51.6	63.6	62.3	50.7	
		3. 妻がしっかりリードする夫婦	4.5	6.7	2.2	3.0	4.3	7.2	
		4. 独立した生き方を尊重する夫婦	20.2	14.2	26.4	16.7	20.2	25.8	
8	どんな生活をした方がいいか	1. 結婚したら家庭に入る	14.1	20.0	8.0	17.3	12.9	11.0	
		2. 子どもが生まれるまで働く	16.3	19.7	12.8	18.2	16.4	13.2	
		3. 子育てにめどがついたらまた働く	45.0	39.5	50.7	42.6	44.3	49.7	
		4. ずっと仕事を続ける	24.6	20.8	28.5	21.9	26.4	26.1	
9	夫婦の姓をどう考えるか	1. 男性の姓を名のる	47.5	40.3	54.9	48.3	45.4	49.5	
		2. 女性の姓を名のる	0.3	0.4	0.3	0.5	0.3	0.0	
		3. 夫婦別姓	2.3	2.8	1.8	1.9	3.0	1.9	
		4. どちらの姓を名のってもかまわない	49.9	56.5	43.0	49.3	51.3	48.6	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
10	結婚後の家事や育児分擔	朝食作り	1. 夫がほとんどする	1.5	1.8	1.2	1.2	0.9	3.0
			2. 夫が半分以上する	0.8	1.0	0.5	0.2	0.7	1.9
			3. 夫と妻が半々	27.7	28.5	27.0	24.5	31.0	27.7
			4. 妻が半分以上する	32.0	33.4	30.6	33.7	30.5	31.9
			5. 妻がほとんどする	38.0	35.3	40.7	40.4	36.9	35.5
		夕食後の片づけ	1. 夫がほとんどする	2.6	3.7	1.5	1.7	2.6	4.2
			2. 夫が半分以上する	6.7	8.8	4.6	5.4	9.2	5.0
			3. 夫と妻が半々	59.0	57.1	60.9	58.2	56.3	64.2
			4. 妻が半分以上する	18.7	17.8	19.6	19.8	19.4	15.8
			5. 妻がほとんどする	13.0	12.6	13.4	14.9	12.5	10.8
		部屋の掃除	1. 夫がほとんどする	1.4	2.7	0.0	0.9	1.0	2.8
			2. 夫が半分以上する	2.0	3.0	0.9	2.3	1.7	1.9
			3. 夫と妻が半々	57.1	61.5	52.6	57.0	58.3	55.7
			4. 妻が半分以上する	27.1	22.2	32.3	27.5	26.5	27.4
			5. 妻がほとんどする	12.4	10.6	14.2	12.3	12.5	12.2
	ゴミ出し	1. 夫がほとんどする	17.4	16.5	18.3	13.7	18.7	21.1	
		2. 夫が半分以上する	25.1	24.8	25.5	26.3	24.3	24.7	
		3. 夫と妻が半々	45.8	44.4	47.2	47.2	45.7	43.4	
		4. 妻が半分以上する	7.3	8.4	6.2	9.0	6.4	6.1	
		5. 妻がほとんどする	4.4	5.9	2.8	3.8	4.9	4.7	
	オムツのとりかえ	1. 夫がほとんどする	1.1	1.5	0.5	0.5	0.9	2.2	
		2. 夫が半分以上する	1.5	1.5	1.5	2.3	1.2	0.8	
		3. 夫と妻が半々	61.5	55.1	68.3	59.3	62.2	64.0	
		4. 妻が半分以上する	24.2	26.8	21.5	26.8	22.9	22.2	
		5. 妻がほとんどする	11.7	15.1	8.2	11.1	12.8	10.8	
	子どもをお風呂に入れる	1. 夫がほとんどする	12.2	12.6	11.7	9.2	11.8	17.5	
		2. 夫が半分以上する	25.2	22.3	28.2	26.4	24.8	23.8	
		3. 夫と妻が半々	57.5	57.6	57.6	58.8	58.0	54.9	
		4. 妻が半分以上する	3.3	4.5	2.0	4.2	3.3	1.9	
		5. 妻がほとんどする	1.8	3.0	0.5	1.4	2.1	1.9	
	子どもを寝かしつける	1. 夫がほとんどする	1.3	2.3	0.1	1.0	1.0	1.9	
		2. 夫が半分以上する	2.8	3.0	2.6	2.8	2.1	3.9	
		3. 夫と妻が半々	62.8	59.7	66.3	59.2	64.9	65.7	
		4. 妻が半分以上する	24.2	25.9	22.4	27.6	23.5	19.9	
		5. 妻がほとんどする	8.9	9.1	8.6	9.4	8.5	8.6	
子どものしつけ	1. 夫がほとんどする	1.6	3.0	0.1	0.7	1.7	2.8		
	2. 夫が半分以上する	3.4	5.7	1.1	3.5	3.8	2.8		
	3. 夫と妻が半々	87.8	81.2	94.6	87.4	87.7	88.3		
	4. 妻が半分以上する	5.4	7.0	3.7	6.8	4.9	3.9		
	5. 妻がほとんどする	1.8	3.1	0.5	1.6	1.9	2.2		
11	子どもは何人がよいと思うか	1. 1人	5.6	6.8	4.2	5.7	5.2	5.8	
		2. 2人	66.6	65.8	67.5	66.0	68.4	65.2	
		3. 3人	19.9	19.4	20.5	21.2	19.8	18.0	
		4. 4人以上	2.7	3.2	2.2	2.8	2.3	3.3	
		5. 1人もいない	5.2	4.8	5.6	4.3	4.3	7.7	
12	30年後の生活	自分事に合った仕事	1. きっとできている	34.2	34.1	34.2	33.6	35.5	33.1
			2. たぶんできている	48.6	48.3	48.8	51.1	47.7	45.7
			3. たぶんできていない	15.4	15.3	15.6	13.9	15.4	17.9
			4. ぜんぜんできていない	1.8	2.3	1.4	1.4	1.4	3.3

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
12	30年後の生活	親の面倒をみている	1. きっとできている	17.1	16.5	17.8	15.3	17.9	18.7
			2. たぶんでできている	51.6	49.1	54.0	52.7	52.1	48.8
			3. たぶんでできていない	25.8	28.0	23.6	28.2	24.1	24.8
			4. ぜんぜんできていない	5.5	6.4	4.6	3.8	5.9	7.7
	30年後の生活	幸せな家庭を送る	1. きっとできている	38.0	32.9	43.4	36.9	38.3	39.5
			2. たぶんでできている	50.6	51.5	49.6	53.2	49.9	47.2
			3. たぶんでできていない	8.7	11.5	5.8	8.2	8.7	9.7
			4. ぜんぜんできていない	2.7	4.1	1.2	1.7	3.1	3.6
	30年後の生活	子育てを手をのべている	1. きっとできている	26.1	23.9	28.4	25.1	26.0	27.9
			2. たぶんでできている	56.7	55.6	57.8	58.0	56.8	54.1
			3. たぶんでできていない	13.6	15.6	11.5	14.6	13.9	11.6
			4. ぜんぜんできていない	3.6	4.9	2.3	2.3	3.3	6.4
	30年後の生活	趣味の面で生活を送る	1. きっとできている	32.8	33.5	32.1	31.5	31.6	36.9
			2. たぶんでできている	45.9	44.8	47.2	46.6	47.6	42.1
			3. たぶんでできていない	19.1	19.3	18.8	20.2	19.1	17.4
			4. ぜんぜんできていない	2.2	2.4	1.9	1.7	1.7	3.6
30年後の生活	地域のくつきあつた	1. きっとできている	26.5	23.6	29.5	25.2	26.0	29.2	
		2. たぶんでできている	53.5	51.0	56.2	54.5	53.0	52.9	
		3. たぶんでできていない	16.0	19.6	12.3	17.5	16.3	13.2	
		4. ぜんぜんできていない	4.0	5.8	2.0	2.8	4.7	4.7	
30年後の生活	気の合う友人を持つ	1. きっとできている	40.1	34.4	46.2	41.8	36.3	43.5	
		2. たぶんでできている	48.4	50.5	46.1	48.1	50.5	45.4	
		3. たぶんでできていない	9.7	12.0	7.3	8.9	11.5	8.3	
		4. ぜんぜんできていない	1.8	3.1	0.4	1.2	1.7	2.8	
13	必要に応じて介護したが	1. 自分が一緒に住んで面倒をみる	21.2	22.1	20.2	21.4	19.1	24.3	
		2. 他のきょうだいに面倒をみてもらう	10.4	13.0	7.6	9.9	12.0	8.6	
		3. 近所に親を呼びきょうだいでみる	50.7	41.2	60.8	52.6	50.8	47.5	
		4. 地域の福祉サービスを利用する	11.6	15.7	7.2	11.1	11.5	12.4	
		5. 特別養護老人ホームの施設に入る	6.1	8.0	4.2	5.0	6.6	7.2	
14	50年後の生活	自分に合った仕事を続ける	1. きっとできている	18.1	21.1	15.0	15.4	19.6	20.1
			2. たぶんでできている	36.1	38.9	33.2	38.3	36.0	32.8
			3. たぶんでできていない	37.6	32.7	42.6	39.5	36.4	36.1
			4. ぜんぜんできていない	8.2	7.3	9.2	6.8	8.0	11.0
	50年後の生活	子どもに面倒をみる	1. きっとできている	4.5	4.8	4.2	3.5	5.4	4.7
			2. たぶんでできている	42.5	43.2	42.0	42.0	45.2	39.5
			3. たぶんでできていない	39.4	36.7	42.1	40.9	37.8	39.2
			4. ぜんぜんできていない	13.6	15.3	11.7	13.6	11.6	16.6
	50年後の生活	幸せな家庭を送る	1. きっとできている	32.7	29.1	36.5	30.7	33.6	34.4
			2. たぶんでできている	52.9	51.7	54.1	56.6	52.3	48.0
			3. たぶんでできていない	11.8	15.2	8.3	11.3	11.5	13.2
			4. ぜんぜんできていない	2.6	4.0	1.1	1.4	2.6	4.4
	50年後の生活	まよわいて孫に恵	1. きっとできている	33.6	30.6	36.7	32.7	34.0	34.3
			2. たぶんでできている	50.3	49.2	51.5	52.8	49.1	48.2
			3. たぶんでできていない	11.9	14.5	9.1	11.5	12.7	11.1
			4. ぜんぜんできていない	4.2	5.7	2.7	3.0	4.2	6.4
50年後の生活	趣味の面で生活を送る	1. きっとできている	43.0	42.2	43.8	41.6	43.4	44.6	
		2. たぶんでできている	45.5	43.5	47.7	46.9	47.1	40.8	
		3. たぶんでできていない	10.1	12.2	7.8	10.6	8.5	11.8	
		4. ぜんぜんできていない	1.4	2.1	0.7	0.9	1.0	2.8	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全体	性別		学年別			
				男子	女子	1年	2年	3年	
14	50年後の生活	つちときあつとくた	1. きっとできている	35.9	33.2	38.8	34.6	36.9	36.5
			2. たぶんできている	48.9	46.6	51.3	51.2	46.8	48.6
			3. たぶんできていない	12.2	15.4	8.8	12.1	13.0	11.0
			4. ぜんぜんできていない	3.0	4.8	1.1	2.1	3.3	3.9
	持つ気の合う友人を多	1. きっとできている	41.5	37.0	46.3	42.0	39.9	43.3	
		2. たぶんできている	46.3	47.1	45.5	46.3	47.2	44.8	
		3. たぶんできていない	10.3	12.7	7.7	10.7	10.6	9.1	
		4. ぜんぜんできていない	1.9	3.2	0.5	1.0	2.3	2.8	
15	介護年齢が必要なり	1. できる限り家族に面倒をみてもらう	36.9	40.7	33.0	37.5	41.3	28.9	
		2. ヘルパーを頼み家族の負担を減らす	24.6	22.7	26.6	26.4	22.8	24.7	
		3. 日中は地域のデイサービスで過ごす	20.2	17.9	22.6	18.3	20.1	23.3	
		4. 特別養護老人ホームなどの施設に入る	18.3	18.7	17.8	17.8	15.8	23.1	
16	老後の日本社会	働かざるがく	1. かなりそう思う	12.2	14.8	9.5	11.6	11.5	14.4
			2. まあそう思う	30.4	25.8	35.3	33.9	29.6	26.2
			3. あまりそう思わない	41.3	39.7	42.9	40.7	42.7	39.8
			4. ぜんぜんそう思わない	16.1	19.7	12.3	13.8	16.2	19.6
	選自由で働けるか	1. かなりそう思う	14.7	15.2	14.1	13.7	15.1	15.5	
		2. まあそう思う	46.2	43.3	49.3	49.7	47.5	38.6	
		3. あまりそう思わない	29.4	28.6	30.2	27.9	28.5	33.2	
		4. ぜんぜんそう思わない	9.7	12.9	6.4	8.7	8.9	12.7	
	が自分で死	1. かなりそう思う	21.9	24.1	19.6	20.9	21.4	24.4	
		2. まあそう思う	32.6	29.2	36.2	34.2	32.2	30.7	
		3. あまりそう思わない	35.3	33.8	36.8	35.4	36.6	33.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	10.2	12.9	7.4	9.5	9.8	11.9	
	超え0歳命をが	1. かなりそう思う	13.6	15.1	12.0	14.6	12.8	13.3	
		2. まあそう思う	24.3	22.3	26.4	29.3	21.9	20.2	
		3. あまりそう思わない	40.6	35.9	45.5	38.2	41.9	42.1	
		4. ぜんぜんそう思わない	21.5	26.7	16.1	17.9	23.4	24.4	
度する生活で年金保障	1. かなりそう思う	10.2	11.7	8.6	11.8	10.4	7.5		
	2. まあそう思う	23.2	21.0	25.4	30.4	21.2	14.6		
	3. あまりそう思わない	39.5	37.8	41.4	37.4	41.5	39.8		
	4. ぜんぜんそう思わない	27.1	29.5	24.6	20.4	26.9	38.1		
17	30年後の学校像	活しゆがた送高たれ校りる生と	1. かなりそう思う	8.6	9.9	7.3	10.2	7.6	7.7
			2. まあそう思う	33.1	33.4	32.9	34.8	33.2	30.4
			3. あまりそう思わない	45.6	41.6	49.5	43.6	46.2	47.5
			4. ぜんぜんそう思わない	12.7	15.1	10.3	11.4	13.0	14.4
	てツイ勉強をすつネ	1. かなりそう思う	32.8	31.3	34.3	29.2	30.0	42.8	
		2. まあそう思う	47.3	44.7	50.0	50.2	49.0	40.1	
		3. あまりそう思わない	16.6	18.8	14.3	18.5	17.7	11.9	
		4. ぜんぜんそう思わない	3.3	5.2	1.4	2.1	3.3	5.2	
	が教室から黒板	1. かなりそう思う	23.9	25.8	21.9	20.1	24.8	28.5	
		2. まあそう思う	30.4	27.1	33.9	36.0	29.0	23.8	
		3. あまりそう思わない	36.8	36.8	36.8	35.6	37.7	37.2	
		4. ぜんぜんそう思わない	8.9	10.3	7.4	8.3	8.5	10.5	
はの教使わりやネット絡	1. かなりそう思う	20.6	23.9	17.2	20.3	20.3	21.5		
	2. まあそう思う	32.6	28.6	36.8	34.0	31.3	32.6		
	3. あまりそう思わない	38.5	36.9	40.1	37.0	41.8	35.4		
	4. ぜんぜんそう思わない	8.3	10.6	5.9	8.7	6.6	10.5		
一校部の活動にやる	1. かなりそう思う	7.9	9.3	6.4	7.3	7.5	9.4		
	2. まあそう思う	22.1	21.1	23.1	22.7	22.7	20.2		
	3. あまりそう思わない	56.0	52.2	60.1	57.5	56.8	52.4		
	4. ぜんぜんそう思わない	14.0	17.4	10.4	12.5	13.0	18.0		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
17	30年後の学校のイメージ	な週休3日制に なつて いる	1. かなりそう思う	23.5	21.9	25.2	25.0	22.9	22.1
			2. まあそう思う	25.9	24.1	27.7	28.2	24.3	24.6
			3. あまりそう思わない	34.4	34.2	34.8	31.9	36.3	35.6
			4. ぜんぜんそう思わない	16.2	19.8	12.3	14.9	16.5	17.7
		なくもの制服が なる	1. かなりそう思う	11.8	14.8	8.6	11.6	11.6	12.4
			2. まあそう思う	23.4	24.6	22.2	25.8	22.7	20.7
			3. あまりそう思わない	52.1	45.3	59.3	50.1	54.9	50.9
			4. ぜんぜんそう思わない	12.7	15.3	9.9	12.5	10.8	16.0
		くいな なつめ は少 な	1. かなりそう思う	3.4	4.6	2.0	2.1	4.2	4.1
			2. まあそう思う	9.9	9.9	9.9	11.9	9.2	7.7
			3. あまりそう思わない	45.6	43.1	48.4	47.2	47.5	40.1
			4. ぜんぜんそう思わない	41.1	42.4	39.7	38.8	39.1	48.1
	く間L なるH からR が な時	1. かなりそう思う	6.8	8.8	4.7	6.4	5.9	8.8	
		2. まあそう思う	16.4	16.5	16.3	17.3	15.9	15.7	
		3. あまりそう思わない	58.1	53.4	63.0	58.3	61.8	52.0	
		4. ぜんぜんそう思わない	18.7	21.3	16.0	18.0	16.4	23.5	
いな修 るく学 な旅 なつ ては	1. かなりそう思う	2.6	3.9	1.2	2.1	3.5	1.9		
	2. まあそう思う	5.4	6.3	4.5	5.0	5.0	6.6		
	3. あまりそう思わない	39.9	36.7	43.2	41.9	39.8	36.7		
	4. ぜんぜんそう思わない	52.1	53.1	51.1	51.0	51.7	54.8		
入学志 れに望 する誰 でも大	1. かなりそう思う	6.3	7.3	5.1	3.8	5.7	11.0		
	2. まあそう思う	15.2	12.4	18.3	15.6	12.2	19.6		
	3. あまりそう思わない	41.6	37.5	45.9	42.7	42.8	37.9		
	4. ぜんぜんそう思わない	36.9	42.8	30.7	37.9	39.3	31.5		
て教高 いる校 はは な義 務	1. かなりそう思う	14.5	13.5	15.6	14.9	14.8	13.6		
	2. まあそう思う	23.2	20.6	26.0	25.6	23.0	19.9		
	3. あまりそう思わない	37.9	36.2	39.5	38.6	38.4	35.5		
	4. ぜんぜんそう思わない	24.4	29.7	18.9	20.9	23.8	31.0		
扱目高 で校 は自 由に 選授 業 科	1. かなりそう思う	22.2	22.9	21.4	20.9	20.9	26.2		
	2. まあそう思う	48.2	43.4	53.1	51.1	47.8	44.3		
	3. あまりそう思わない	22.8	23.6	22.1	21.6	24.7	21.8		
	4. ぜんぜんそう思わない	6.8	10.1	3.4	6.4	6.6	7.7		
18	大30 学年 卒業 のの 備一 値流	1. 今よりぐんと値打ちが上がる	4.7	6.8	2.4	5.4	4.2	4.4	
		2. 今よりやや値打ちが上がる	8.5	8.8	8.3	10.2	8.9	5.2	
		3. 今とそう変わらない	39.7	38.1	41.4	39.4	39.5	40.4	
		4. 今よりやや値打ちが下がる	32.2	30.3	34.1	31.6	33.0	31.8	
		5. 今よりぐんと値打ちが下がる	14.9	16.0	13.8	13.4	14.4	18.2	
19	30 年 後 の 人 間 関 係	密親 子 関 係 は 親	1. とてもそう思う	4.6	4.3	5.0	3.5	5.2	5.5
			2. ややそう思う	14.3	15.1	13.4	16.1	13.9	11.9
			3. 今と変わらない	42.7	42.8	42.5	39.1	44.7	45.0
			4. あまりそう思わない	29.7	26.8	32.7	32.6	28.0	27.9
			5. ぜんぜんそう思わない	8.7	11.0	6.4	8.7	8.2	9.7
	結兄 束弟 が・ 強姉 まる の	1. とてもそう思う	5.0	4.9	5.0	4.9	5.0	5.0	
		2. ややそう思う	12.5	11.9	13.1	12.1	11.8	14.1	
		3. 今と変わらない	46.3	46.4	46.5	44.7	48.3	46.4	
		4. あまりそう思わない	27.9	26.4	29.4	31.2	26.2	25.1	
		5. ぜんぜんそう思わない	8.3	10.4	6.0	7.1	8.7	9.4	
	接親 に 威 係 は 密	1. とてもそう思う	2.3	2.8	1.6	2.1	2.1	2.8	
		2. ややそう思う	5.9	7.0	4.8	5.9	6.1	5.5	
		3. 今と変わらない	39.6	41.8	37.2	40.3	39.8	38.3	
		4. あまりそう思わない	34.4	30.2	39.0	34.5	34.3	34.6	
		5. ぜんぜんそう思わない	17.8	18.2	17.4	17.2	17.7	18.8	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
19	30年後の人間関係	関トイン係にンタがよるター進む人ネ間ツ	1. とてもそう思う	19.0	18.7	19.4	17.9	19.4	20.2
			2. ややそう思う	52.8	47.3	58.6	52.3	53.8	51.8
			3. 今と変わらない	13.7	14.8	12.4	14.4	13.2	13.3
			4. あまりそう思わない	11.8	14.9	8.5	12.8	12.2	9.7
			5. ぜんぜんそう思わない	2.7	4.3	1.1	2.6	1.4	5.0
		なな地くど域のな活町動内が会	1. とてもそう思う	11.2	12.5	9.9	11.1	10.9	11.9
			2. ややそう思う	36.4	27.6	45.8	36.5	36.9	35.8
			3. 今と変わらない	29.8	31.0	28.5	27.7	30.9	31.3
			4. あまりそう思わない	18.4	22.7	13.8	21.2	16.8	16.3
			5. ぜんぜんそう思わない	4.2	6.2	2.0	3.5	4.5	4.7
		がし趣重視人などを関係通	1. とてもそう思う	12.9	13.7	12.1	10.2	13.4	16.3
			2. ややそう思う	39.4	35.6	43.4	39.6	39.9	38.4
			3. 今と変わらない	33.6	34.8	32.2	34.7	33.7	31.5
			4. あまりそう思わない	11.8	12.3	11.4	13.4	12.0	9.1
			5. ぜんぜんそう思わない	2.3	3.6	0.9	2.1	1.0	4.7
増も結えを婚する持して人子がど	1. とてもそう思う	4.2	4.5	3.8	4.7	3.5	4.4		
	2. ややそう思う	8.3	9.7	6.8	9.0	8.3	6.9		
	3. 今と変わらない	33.9	36.1	31.5	33.3	37.0	29.8		
	4. あまりそう思わない	42.0	37.1	47.5	43.3	41.0	42.3		
	5. ぜんぜんそう思わない	11.6	12.6	10.4	9.7	10.2	16.6		
がら高強く自立はる意親識か	1. とてもそう思う	21.2	25.2	17.1	21.9	19.5	22.9		
	2. ややそう思う	33.2	30.9	35.5	37.1	31.7	29.3		
	3. 今と変わらない	32.7	31.6	33.8	31.1	34.8	32.1		
	4. あまりそう思わない	8.4	7.0	9.9	6.6	9.0	10.2		
	5. ぜんぜんそう思わない	4.5	5.3	3.7	3.3	5.0	5.5		
20	30年後の男女の社会的関係	く男就女職なる差別が際がない	1. とてもそう思う	16.2	18.9	13.4	17.9	15.5	14.9
			2. ややそう思う	43.0	41.6	44.5	46.6	42.4	38.1
			3. 今と変わらない	21.2	18.8	23.7	18.4	22.7	23.2
			4. あまりそう思わない	13.9	13.1	14.7	12.1	14.2	16.3
			5. ぜんぜんそう思わない	5.7	7.6	3.7	5.0	5.2	7.5
		つ地女て位性は高社会会的	1. とてもそう思う	12.9	14.1	11.6	12.8	12.8	13.0
			2. ややそう思う	48.0	46.1	49.9	45.6	49.5	49.4
			3. 今と変わらない	24.3	23.4	25.3	26.4	24.0	21.5
			4. あまりそう思わない	11.0	11.2	10.8	11.6	9.7	12.2
			5. ぜんぜんそう思わない	3.8	5.2	2.4	3.6	4.0	3.9
		評才女価能さは正能るし力くや	1. とてもそう思う	18.6	21.2	16.0	21.3	17.6	16.0
			2. ややそう思う	50.9	49.8	51.7	49.2	53.3	49.1
			3. 今と変わらない	17.8	16.3	19.5	16.3	18.8	18.8
			4. あまりそう思わない	10.4	9.7	11.2	11.8	7.3	13.3
			5. ぜんぜんそう思わない	2.3	3.0	1.6	1.4	3.0	2.8
れ男就る性職がする差別際に	1. とてもそう思う	2.2	3.9	0.5	1.2	3.0	2.8		
	2. ややそう思う	4.0	6.1	1.9	2.8	3.5	6.9		
	3. 今と変わらない	30.3	34.0	26.4	29.3	33.8	26.0		
	4. あまりそう思わない	31.8	27.1	36.7	34.8	31.0	28.5		
	5. ぜんぜんそう思わない	31.7	28.9	34.5	31.9	28.7	35.8		
が結増婚えてない人	1. とてもそう思う	25.6	25.9	25.3	21.5	24.3	34.3		
	2. ややそう思う	45.1	42.0	48.6	44.7	47.4	42.5		
	3. 今と変わらない	20.9	22.6	19.1	22.9	21.7	16.3		
	4. あまりそう思わない	6.7	7.1	6.2	8.5	5.4	5.8		
	5. ぜんぜんそう思わない	1.7	2.4	0.8	2.4	1.2	1.1		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年	3年	
21	紫外線を避けて 紫外線の照射を 避けて	1. とてもそう思う	7.4	8.4	6.4	6.1	6.1	11.6
		2. ややそう思う	38.7	35.3	42.0	39.3	35.3	42.9
		3. 今と変わらない	27.9	25.5	30.4	28.8	30.2	22.9
		4. あまりそう思わない	17.6	18.2	17.1	17.3	18.9	16.0
		5. ぜんぜんそう思わない	8.4	12.6	4.1	8.5	9.5	6.6
	電気自動車 の普及が	1. とてもそう思う	34.1	36.3	31.8	34.3	34.8	32.9
		2. ややそう思う	52.5	49.6	55.6	55.0	51.1	50.6
		3. 今と変わらない	6.5	5.8	7.3	5.5	6.1	8.8
		4. あまりそう思わない	5.5	5.9	5.0	4.3	6.8	5.2
		5. ぜんぜんそう思わない	1.4	2.4	0.3	0.9	1.2	2.5
	発電機 の普及が	1. とてもそう思う	16.7	22.1	11.0	14.6	19.0	16.3
		2. ややそう思う	37.4	34.7	40.4	38.5	38.7	33.4
		3. 今と変わらない	22.7	18.3	27.2	24.1	23.6	19.1
		4. あまりそう思わない	17.6	17.3	17.9	17.9	14.3	22.4
		5. ぜんぜんそう思わない	5.6	7.6	3.5	4.9	4.4	8.8
	30年 の計画 が活 的に 増 や す	1. とてもそう思う	14.1	16.6	11.5	14.6	14.4	12.8
		2. ややそう思う	37.0	34.5	39.8	39.1	36.9	33.8
		3. 今と変わらない	35.2	32.9	37.5	35.4	34.8	35.5
		4. あまりそう思わない	10.0	10.6	9.3	7.8	10.8	12.3
		5. ぜんぜんそう思わない	3.7	5.4	1.9	3.1	3.1	5.6
後 の 見 込 み は	1. とてもそう思う	25.3	29.9	20.4	26.7	21.9	28.5	
	2. ややそう思う	45.4	40.0	51.2	45.2	46.0	44.5	
	3. 今と変わらない	19.2	19.7	18.7	18.9	21.6	16.0	
	4. あまりそう思わない	7.9	7.2	8.5	7.6	8.2	7.7	
	5. ぜんぜんそう思わない	2.2	3.2	1.2	1.6	2.3	3.3	
自然 環 境	1. とてもそう思う	33.7	38.4	28.7	34.4	31.1	36.5	
	2. ややそう思う	45.6	39.9	51.8	46.1	47.5	42.3	
	3. 今と変わらない	15.8	15.4	16.3	14.6	17.0	15.7	
	4. あまりそう思わない	3.6	4.4	2.7	3.3	3.5	4.1	
	5. ぜんぜんそう思わない	1.3	1.9	0.5	1.6	0.9	1.4	
の あ ら わ ぬ ク レ ム	1. とてもそう思う	33.7	35.1	32.2	32.8	32.3	37.3	
	2. ややそう思う	47.9	44.1	51.9	49.7	47.9	45.3	
	3. 今と変わらない	13.3	13.8	12.9	13.0	14.8	11.6	
	4. あまりそう思わない	4.0	5.3	2.6	3.8	4.0	4.1	
	5. ぜんぜんそう思わない	1.1	1.7	0.4	0.7	1.0	1.7	
他 の 天 体 の 資 源	1. とてもそう思う	15.2	20.5	9.6	15.8	14.1	16.1	
	2. ややそう思う	35.8	31.9	40.0	38.4	34.7	32.9	
	3. 今と変わらない	24.1	21.4	26.9	23.6	26.8	20.8	
	4. あまりそう思わない	18.2	17.3	19.2	17.2	17.4	21.3	
	5. ぜんぜんそう思わない	6.7	8.9	4.3	5.0	7.0	8.9	
中 心 的 食 生 活	1. とてもそう思う	16.4	18.3	14.5	17.2	14.4	18.6	
	2. ややそう思う	33.4	32.2	34.6	35.8	31.6	32.0	
	3. 今と変わらない	31.7	29.3	34.2	30.2	34.0	30.5	
	4. あまりそう思わない	14.1	15.2	13.0	13.3	15.3	13.6	
	5. ぜんぜんそう思わない	4.4	5.0	3.7	3.5	4.7	5.3	
葉 菜 の 飲 み 方 の 慣 習	1. とてもそう思う	18.8	18.1	19.5	18.7	17.4	21.0	
	2. ややそう思う	41.0	39.0	43.2	41.9	42.8	37.3	
	3. 今と変わらない	25.8	26.3	25.2	24.8	25.0	28.5	
	4. あまりそう思わない	9.8	10.5	9.1	10.4	10.3	8.0	
	5. ぜんぜんそう思わない	4.6	6.1	3.0	4.2	4.5	5.2	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
22	30年後の日本社会	济社会全体 の経	1. とてもよくなっている	4.2	6.3	2.0	5.5	3.3	3.6
			2. ややよくなっている	43.7	42.4	45.2	50.2	43.6	33.7
			3. 今と変わらない	29.1	28.5	29.7	23.6	34.1	29.8
			4. やや悪くなっている	16.9	15.6	18.2	16.5	14.8	20.7
			5. とても悪くなっている	6.1	7.2	4.9	4.2	4.2	12.2
		活一人 の生	1. とてもよくなっている	8.4	10.2	6.5	10.6	7.0	7.2
			2. ややよくなっている	40.8	38.4	43.4	46.1	43.6	27.9
			3. 今と変わらない	35.2	33.3	37.1	30.0	37.0	40.6
			4. やや悪くなっている	12.4	13.7	11.0	11.6	10.5	16.6
			5. とても悪くなっている	3.2	4.4	2.0	1.7	1.9	7.7
	治安状況	1. とてもよくなっている	4.5	6.7	2.2	5.7	3.8	3.6	
		2. ややよくなっている	14.8	14.0	15.6	18.1	14.1	10.5	
		3. 今と変わらない	32.2	29.3	35.1	35.0	32.9	26.5	
		4. やや悪くなっている	37.2	36.8	37.9	30.4	41.9	41.2	
		5. とても悪くなっている	11.3	13.2	9.2	10.8	7.3	18.2	
	自然環境	1. とてもよくなっている	1.9	3.0	0.8	0.7	3.1	1.9	
		2. ややよくなっている	6.4	7.4	5.3	5.2	8.0	5.5	
		3. 今と変わらない	9.8	11.1	8.4	9.2	11.4	8.3	
		4. やや悪くなっている	43.7	37.6	50.1	47.4	43.9	37.6	
		5. とても悪くなっている	38.2	40.9	35.4	37.5	33.6	46.7	
	欧米諸国との 関係	1. とてもよくなっている	6.5	7.0	6.0	7.3	6.8	4.7	
		2. ややよくなっている	28.3	28.6	28.0	35.2	26.2	20.7	
3. 今と変わらない		51.9	49.1	54.9	46.6	54.4	56.4		
4. やや悪くなっている		10.1	11.2	8.8	8.8	10.3	11.6		
5. とても悪くなっている		3.2	4.1	2.3	2.1	2.3	6.6		
アジア諸国との 関係	1. とてもよくなっている	8.0	10.2	5.7	8.7	8.5	6.1		
	2. ややよくなっている	35.4	37.0	33.7	40.0	34.8	29.0		
	3. 今と変わらない	42.6	36.8	48.8	41.6	41.5	46.1		
	4. やや悪くなっている	10.4	11.5	9.2	7.8	12.4	11.3		
	5. とても悪くなっている	3.6	4.5	2.6	1.9	2.8	7.5		
人々の連 帯感	1. とてもよくなっている	2.5	3.7	1.2	1.6	3.5	2.5		
	2. ややよくなっている	10.6	10.7	10.4	12.1	9.9	9.1		
	3. 今と変わらない	41.4	40.9	42.1	43.6	40.1	40.0		
	4. やや悪くなっている	33.9	30.5	37.5	32.1	35.0	35.1		
	5. とても悪くなっている	11.6	14.2	8.8	10.6	11.5	13.3		
23	30年後も残 しておきたい もの	制服や高 校の	1. とても残したい	18.3	15.5	21.2	21.3	16.2	16.9
			2. まあ残したい	26.4	22.4	30.6	29.9	23.7	24.9
			3. どちらでもよい	44.5	48.6	40.0	39.4	48.9	45.5
			4. あまり残したくない	5.0	5.6	4.5	4.7	5.6	4.7
			5. まったく残したくない	5.8	7.9	3.7	4.7	5.6	8.0
	修中 学旅 行高 校の	1. とても残したい	60.3	54.9	66.1	60.7	57.5	64.1	
		2. まあ残したい	22.9	23.6	22.2	23.9	25.4	17.4	
		3. どちらでもよい	14.7	18.6	10.7	13.5	14.8	16.6	
		4. あまり残したくない	0.6	0.6	0.5	0.3	0.7	0.8	
		5. まったく残したくない	1.5	2.3	0.5	1.6	1.6	1.1	
	すく る男 女を 区別 する	1. とても残したい	7.1	8.8	5.4	5.5	8.0	8.3	
		2. まあ残したい	12.5	13.0	11.9	12.1	12.7	12.7	
		3. どちらでもよい	69.4	66.2	72.8	72.2	67.7	67.9	
		4. あまり残したくない	5.7	5.4	6.0	4.7	5.9	6.9	
		5. まったく残したくない	5.3	6.6	3.9	5.5	5.7	4.2	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
23	30年後も残しておきたいもの	か20歳の酒を・喫煙は法律を過ぎては	1. とても残したい	24.6	24.9	24.3	25.3	21.4	28.5
		2. まあ残したい	20.8	16.9	24.9	20.8	21.6	19.7	
		3. どちらでもよい	35.5	37.2	33.7	34.7	37.2	34.0	
		4. あまり残したくない	10.3	9.3	11.4	11.6	9.9	8.9	
		5. まったく残したくない	8.8	11.7	5.7	7.6	9.9	8.9	
	や町祭りの盆踊り	1. とても残したい	30.9	30.5	31.4	28.5	30.0	36.1	
	2. まあ残したい	31.0	25.6	36.6	31.7	31.4	29.3		
	3. どちらでもよい	31.4	35.2	27.4	31.8	32.0	29.6		
	4. あまり残したくない	3.2	3.7	2.7	3.5	3.5	2.5		
	5. まったく残したくない	3.5	5.0	1.9	4.5	3.1	2.5		
	り見年と舞賀りい状の暑や中	1. とても残したい	32.0	26.6	37.4	33.8	31.5	29.6	
	2. まあ残したい	29.8	25.5	34.3	33.2	28.2	26.8		
	3. どちらでもよい	27.1	32.7	21.2	23.0	28.9	30.9		
	4. あまり残したくない	5.9	7.4	4.5	4.8	6.3	7.2		
	5. まったく残したくない	5.2	7.8	2.6	5.2	5.1	5.5		
	生お活米中心の食	1. とても残したい	48.7	45.9	51.6	45.2	48.9	54.1	
	2. まあ残したい	27.1	27.1	27.2	30.8	27.1	21.3		
	3. どちらでもよい	22.0	23.9	20.0	22.1	22.1	21.5		
	4. あまり残したくない	1.3	1.4	1.1	1.2	1.0	1.7		
	5. まったく残したくない	0.9	1.7	0.1	0.7	0.9	1.4		
	敬語	1. とても残したい	31.3	30.5	32.2	30.0	30.3	35.0	
	2. まあ残したい	31.0	27.5	34.6	28.5	32.8	31.8		
	3. どちらでもよい	27.3	28.9	25.7	28.5	26.3	27.1		
4. あまり残したくない	5.1	5.0	5.1	6.9	4.7	2.8			
5. まったく残したくない	5.3	8.1	2.4	6.1	5.9	3.3			
ゴミの分別回収	1. とても残したい	57.1	54.3	60.2	52.8	57.7	63.5		
2. まあ残したい	25.8	24.8	26.8	30.2	25.7	18.8			
3. どちらでもよい	14.1	16.9	11.1	14.2	13.9	14.1			
4. あまり残したくない	1.7	1.9	1.5	1.4	1.7	2.2			
5. まったく残したくない	1.3	2.1	0.4	1.4	1.0	1.4			
平憲和さ法第9の理て念い条るで	1. とても残したい	63.2	57.9	69.0	61.4	62.7	67.3		
2. まあ残したい	17.9	17.9	17.9	17.5	20.2	15.0			
3. どちらでもよい	15.7	18.7	12.4	17.1	15.1	14.1			
4. あまり残したくない	1.2	1.9	0.4	1.4	1.0	1.1			
5. まったく残したくない	2.0	3.6	0.3	2.6	1.0	2.5			
し結た婚し式にきたり連	1. とても残したい	12.5	13.8	11.1	12.6	10.3	15.7		
2. まあ残したい	16.2	16.5	15.8	16.4	15.5	16.9			
3. どちらでもよい	46.3	44.8	48.1	49.9	44.8	43.4			
4. あまり残したくない	15.2	13.4	17.0	14.0	17.7	13.0			
5. まったく残したくない	9.8	11.5	8.0	7.1	11.7	11.0			
の現や在りのかた葬式	1. とても残したい	10.9	12.6	9.1	10.6	9.7	13.3		
2. まあ残したい	16.8	17.0	16.6	16.6	16.0	18.5			
3. どちらでもよい	50.6	46.3	55.1	54.1	47.7	49.5			
4. あまり残したくない	12.3	11.7	13.0	10.2	15.3	11.0			
5. まったく残したくない	9.4	12.4	6.2	8.5	11.3	7.7			
24	30年後の政治・経済	て地日本は国際的	1. とてもそう思う	9.2	11.6	6.6	8.8	9.7	8.9
		2. ややそう思う	31.4	30.2	32.6	37.9	30.3	22.8	
		3. 今と変わらない	36.2	33.2	39.4	34.6	37.1	37.5	
		4. あまりそう思わない	17.9	17.6	18.3	15.9	17.2	22.2	
		5. ぜんぜんそう思わない	5.3	7.4	3.1	2.8	5.7	8.6	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全体	性別		学年別			
				男子	女子	1年	2年	3年	
24	政治	本も参加 ア地域 で統 も行合 われが ア日	1. とてもそう思う	9.6	12.3	6.8	9.0	10.4	9.1
			2. ややそう思う	39.1	32.4	45.9	41.9	38.7	35.5
			3. 今と変わらない	26.5	27.4	25.7	26.1	27.8	25.1
			4. あまりそう思わない	18.5	19.1	18.0	17.3	17.9	21.5
			5. ぜんぜんそう思わない	6.3	8.8	3.6	5.7	5.2	8.8
		い重要 はな 国民 案に 投票 する	1. とてもそう思う	16.9	17.7	16.1	21.1	14.4	14.1
			2. ややそう思う	39.2	33.9	44.7	42.6	39.5	33.1
			3. 今と変わらない	25.6	25.7	25.6	21.5	27.3	29.6
			4. あまりそう思わない	11.4	13.0	9.7	10.6	10.8	13.8
			5. ぜんぜんそう思わない	6.9	9.7	3.9	4.2	8.0	9.4
		なと地 つ方 て広 いな域 る自治 もの治 ははも のにつ に	1. とてもそう思う	8.9	12.3	5.3	9.3	8.2	9.1
			2. ややそう思う	30.2	27.5	33.0	31.1	30.8	27.7
	3. 今と変わらない		41.5	38.1	45.1	41.8	42.7	39.3	
	4. あまりそう思わない		13.8	13.8	13.8	11.9	13.4	17.5	
	5. ぜんぜんそう思わない		5.6	8.3	2.8	5.9	4.9	6.4	
	後 の 政 治 ・ 経 済	化職外 しする ての いの企 る業に 一般就	1. とてもそう思う	6.1	7.0	5.1	5.5	5.6	7.7
			2. ややそう思う	29.1	26.7	31.6	27.9	29.0	31.2
			3. 今と変わらない	34.2	34.1	34.2	37.2	35.2	27.9
			4. あまりそう思わない	23.2	22.1	24.5	23.7	21.9	24.6
			5. ぜんぜんそう思わない	7.4	10.1	4.6	5.7	8.3	8.6
	つり転 て前職 いのが る社 会に なた	1. とてもそう思う	13.2	14.6	11.6	12.1	12.4	16.0	
		2. ややそう思う	39.3	36.8	42.3	35.9	42.8	39.4	
		3. 今と変わらない	32.7	32.0	33.3	35.3	31.9	29.6	
		4. あまりそう思わない	13.1	13.8	12.3	15.1	11.0	13.3	
5. ぜんぜんそう思わない		1.7	2.8	0.5	1.6	1.9	1.7		
いる 界国 平連 和が が発 展し て世	1. とてもそう思う	11.1	10.6	11.6	13.0	10.8	8.6		
	2. ややそう思う	24.3	21.0	27.7	28.5	23.4	18.8		
	3. 今と変わらない	33.5	31.7	35.6	30.2	35.0	36.9		
	4. あまりそう思わない	21.6	22.1	21.0	20.2	22.4	22.4		
	5. ぜんぜんそう思わない	9.5	14.6	4.1	8.1	8.4	13.3		
が火 星に つて 人類 の移 住	1. とてもそう思う	9.9	12.5	7.2	11.8	8.4	9.4		
	2. ややそう思う	22.6	21.4	23.7	27.0	21.0	18.0		
	3. 今と変わらない	19.5	17.3	21.8	19.0	20.8	18.2		
	4. あまりそう思わない	23.7	21.2	26.3	21.8	24.3	25.7		
	5. ぜんぜんそう思わない	24.3	27.6	21.0	20.4	25.5	28.7		
なのア つ飢 り力 いが るな くど	1. とてもそう思う	5.4	6.7	3.9	5.7	4.7	5.8		
	2. ややそう思う	18.4	16.6	20.3	23.9	16.8	12.2		
	3. 今と変わらない	23.3	20.1	26.8	24.9	23.3	21.0		
	4. あまりそう思わない	31.4	30.9	31.9	28.5	34.2	31.4		
	5. ぜんぜんそう思わない	21.5	25.7	17.1	17.0	21.0	29.6		
さ信あ れ技の て術世 いがと る開の 発交	1. とてもそう思う	4.9	7.1	2.6	4.7	4.9	5.2		
	2. ややそう思う	3.9	3.2	4.6	4.2	2.8	5.2		
	3. 今と変わらない	8.7	8.2	9.2	9.0	9.2	7.2		
	4. あまりそう思わない	11.4	8.5	14.3	12.8	11.2	9.4		
	5. ぜんぜんそう思わない	71.1	73.0	69.3	69.3	71.9	73.0		
26	成 績	1. 上	7.0	8.6	5.2	7.0	5.9	8.7	
		2. 中の上	18.6	17.9	19.3	19.0	20.3	15.1	
		3. 中	29.5	28.0	31.2	30.6	25.6	34.2	
		4. 中の下	20.4	19.5	21.3	21.1	21.0	18.2	
		5. 下	24.5	26.0	23.0	22.3	27.2	23.8	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
27	高校卒業後の進路	1. 難しい大学への進学	20.4	24.4	16.2	16.5	27.1	16.0	
		2. まあまあの大学への進学	57.0	60.7	52.6	54.1	55.6	63.2	
		3. 短大への進学	3.2	0.8	5.8	3.0	1.4	6.6	
		4. 専修・専門学校への進学	7.7	3.3	12.5	9.3	7.1	6.3	
		5. 進学せずに就職	1.1	1.2	1.1	1.1	0.5	2.3	
		6. まだ決めていない	8.4	7.5	9.4	13.4	6.9	2.8	
		7. その他	2.2	2.1	2.4	2.6	1.4	2.8	
28	理系・文系のタイプ	1. 絶対理系	15.6	23.9	6.8	17.0	18.0	9.3	
		2. まあ理系	23.2	26.6	19.4	23.0	28.5	14.7	
		3. どちらともいえない	16.6	14.2	19.2	17.5	15.9	16.4	
		4. まあ文系	22.2	17.5	27.1	20.9	21.3	25.7	
		5. 絶対文系	20.3	15.3	25.7	20.2	15.2	28.8	
		6. その他	2.1	2.5	1.8	1.4	1.1	5.1	
29	自分のタイプ	行動力がある	1. とてもそう	12.1	14.4	9.7	10.2	13.8	12.5
			2. まあそう	41.5	36.4	46.9	42.8	41.0	40.2
			3. やや違う	36.1	37.4	34.6	39.8	34.0	33.3
			4. まったく違う	10.3	11.8	8.8	7.2	11.2	14.0
		おだやかな	1. とてもそう	6.2	7.9	4.3	6.2	7.3	4.3
			2. まあそう	33.9	27.8	40.5	33.7	32.1	37.2
			3. やや違う	44.6	43.7	45.6	46.7	45.3	40.2
			4. まったく違う	15.3	20.6	9.6	13.4	15.3	18.3
		異性から人気がある	1. とてもそう	3.5	5.8	1.0	1.9	4.6	4.0
			2. まあそう	11.5	12.9	10.1	10.9	10.5	14.1
			3. やや違う	49.7	52.2	47.0	51.8	51.0	44.7
			4. まったく違う	35.3	29.1	41.9	35.4	33.9	37.2
		友だちが多い	1. とてもそう	13.9	14.4	13.3	15.5	12.8	13.1
			2. まあそう	48.7	45.8	51.8	50.6	48.5	45.7
			3. やや違う	30.4	30.5	30.3	29.8	30.7	31.0
			4. まったく違う	7.0	9.3	4.6	4.1	8.0	10.2
		努力型だ	1. とてもそう	13.2	14.2	12.2	11.1	13.5	16.1
			2. まあそう	34.0	31.5	36.7	36.6	33.3	31.2
			3. やや違う	34.0	32.5	35.5	34.3	34.3	32.9
			4. まったく違う	18.8	21.8	15.6	18.0	18.9	19.8
		心がやさしい	1. とてもそう	15.0	22.1	7.5	12.7	16.7	16.2
			2. まあそう	48.3	44.7	52.0	50.0	47.6	46.3
			3. やや違う	30.7	26.5	35.2	31.6	31.4	28.1
			4. まったく違う	6.0	6.7	5.3	5.7	4.3	9.4
		友だちから信頼されている	1. とてもそう	7.1	8.6	5.6	6.0	7.3	8.6
			2. まあそう	51.0	43.5	58.8	53.0	51.4	46.7
			3. やや違う	34.4	37.8	30.9	35.8	33.3	34.1
			4. まったく違う	7.5	10.1	4.7	5.2	8.0	10.6
はがんばればできること	1. とてもそう	20.9	24.3	17.3	18.3	22.2	22.9		
	2. まあそう	51.4	47.0	56.0	53.4	52.1	47.4		
	3. やや違う	22.6	22.1	23.2	24.8	21.3	21.2		
	4. まったく違う	5.1	6.6	3.5	3.5	4.4	8.5		
今を楽しんでいる	1. とてもそう	27.3	29.4	25.2	31.3	27.5	20.7		
	2. まあそう	31.6	29.5	33.8	30.9	31.9	32.1		
	3. やや違う	31.1	29.8	32.4	30.9	31.4	31.0		
	4. まったく違う	10.0	11.3	8.6	6.9	9.2	16.2		

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
29	自 分 の タ イ プ	張 友 だ ち を 引 つ る 力 が あ る	1. とてもそう	7.6	9.2	5.8	6.5	9.6	6.0
			2. まあそう	28.1	25.0	31.5	28.0	27.7	29.1
			3. やや違う	50.3	49.0	51.7	54.6	48.0	47.2
			4. まったく違う	14.0	16.8	11.0	10.9	14.7	17.7
	さ れ て い る 信 頼	先 生 か ら	1. とてもそう	4.8	5.9	3.6	2.7	6.2	6.0
			2. まあそう	31.2	27.9	34.7	32.3	27.7	35.2
			3. やや違う	45.7	45.5	45.9	48.9	46.8	38.5
			4. まったく違う	18.3	20.7	15.8	16.1	19.3	20.3
	得 意 だ い ツ が	ス ポ ー ツ	1. とてもそう	17.3	22.3	12.0	17.9	16.1	18.2
			2. まあそう	32.1	34.0	30.0	32.3	31.0	33.5
			3. やや違う	29.5	26.8	32.4	29.1	31.7	26.7
			4. まったく違う	21.1	16.9	25.6	20.7	21.2	21.6